

担当係	
名 前	

北九州マラソン2023

未来へ、かける。

ボランティアマニュアル

医療・救護

2023.2.19

大会スケジュール

2月18日(土)	9:00	ランナー受付開始(全種目) EXPO開場	西日本総合展示場 新館1階 西日本総合展示場 新館1階
	9:30	キッズマラソン開催	あさの汐風公園
	14:00	開会式	西日本総合展示場 新館1階
	19:00	EXPO閉場	西日本総合展示場 新館1階
	20:00	ランナー受付終了	西日本総合展示場 新館1階
	2月19日(日)	7:00	ファンラン受付開始
9:00		マラソン、ベアリレーマラソン スタート ファンラン受付終了	北九州市役所前 北九州国際会議場
		EXPO開場	西日本総合展示場 新館1階
10:00		ファンランスタート	北九州国際会議場前
10:45		ファンラン終了	北九州国際会議場前
15:00		マラソン、ベアリレーマラソン 終了	北九州国際会議場前
16:00		EXPO終了	西日本総合展示場 新館1階

- 種 目／マラソン 42.195km 日本陸上競技連盟・AIMS公認コース
ベアリレーマラソン
- 主 催／北九州市、(一財)北九州市陸上競技協会
- 主 管／北九州マラソン実行委員会
- 制作運営／RKB毎日放送、毎日新聞社、にしけい、ALSOK福岡

北九州マラソン
ボランティアデスク



093-531-2573

- 受付時間／9:00～17:00 (土日祝除く)
- 前 日／7:00～20:00
- 当 日／5:00～9:00
- 開設期間／2023年2月28日(火)まで

目次

■ 基本情報	3	■ フィニッシュ救護所	41
1. 当日の欠席、遅刻の連絡先		1. 集合・解散について	
2. 活動場所への移動		2. 設営について	
3. 当日持ってくるもの		3. スタート時安全管理体制	
4. 個人の貴重品、荷物など		4. その他、救護所スタッフの業務内容	
5. 服装識別		5. 車イスの配置について	
6. ゴミの分別について		6. 注意事項	
7. 心得		7. フィニッシュ救護所とボランティア休憩所の場所	
8. 押さえておきたいポイント			
■ 会場図	6	■ AED隊	44
① コースマップ		1. 業務全般について	
② スタート会場図		2. AED隊の種類と業務内容について	
③ フィニッシュ会場図		3. 集合について	
■ 救護連絡体制	9	4. 移動について（集合時・解散時）	
1. 組織体制		5. 「距離表示シート」について	
2. 緊急時連絡体制		6. 「移動AED隊」 フィニッシュ救護所への動線について	
■ 救護体制・業務役割について	11	7. GPS付きスマートフォンについて	
1. 目的		■ 収容者一時待機車管理係	48
2. 救護本部について		1. 集合・待機場所について	
3. 救護所について		2. 概要と諸注意について	
・医師/看護師/理学療法士/ボランティア		3. 業務内容について	
4. AED隊について		4. 収容者一時待機車の待機場所①	
5. メディカルサポートランナーについて		5. 収容者一時待機車の待機場所②	
6. 救護車(タクシー)について		6. 見本 収容者一時待機車管理簿	
7. 収容者一時待機車について		■ 救護本部	52
8. 収容バス管理係(市職員)について		1. 集合・待機場所について	
9. 収容関門ディレクター(近畿日本ツーリスト)について		2. 主な業務内容について	
10. 特設救急隊(救急車)について		3. 救急要請の電話対応について（2人1組で対応）	
■ 救護所	13	4. 救急搬送者の緊急連絡先への電話対応について	
1. 集合について		5. 搬送されたランナーの手荷物回収について	
2. 移動について（集合時・解散時）		6. 帳票類等の回収について	
3. 救護所主任（市職員）		7. 備品について	
4. 救護所の設営について		■ ナンバーカード一覧	55
5. 救護所の閉所について（最後尾ランナー通過後）		■ ボランティアアンケート	56
6. 救護所での対応手順		■ 新型コロナウイルス感染症予防対策について	58
7. 見本			
8. 見本			
■ スタート救護所	19		
1. 集合・解散について			
2. 業務内容 救護所主任(市職員)			
3. 再検温テントの設置について			
4. スタート時安全管理体制			
■ 各救護所 詳細図	21		

基本情報

1 当日の欠席、遅刻の連絡先

- ①やむをえない事情で当日に欠席、遅刻する場合は、北九州マラソンボランティアデスクに必ず連絡してください。
また、事前にお分かりの場合も必ずボランティアデスクに連絡してください。
- ②欠席の場合、配布した「ボランティアウェア」「キャップ」は返却してください。その際の送料は自己負担です。
【返送先】北九州市小倉北区内1-1 北九州市役所2階 北九州マラソン実行委員会事務局
- ③原則として、活動中の早退、途中参加はできません。

北九州マラソン
ボランティアデスク



093-531-2573

- 受付時間／9:00～17:00（土日祝除く）
- 前 日／7:00～20:00
- 当 日／5:00～9:00
- 開設期間／2023年2月28日(火)まで

2 活動場所への移動

原則として、各救護所へはスタッフ送迎バスで移動します。
なお、「スタート救護所は現地集合」、「20km救護所、フィニッシュ救護所は徒歩」で移動です。

3 当日持ってくるもの

- | | | |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 医療・救護マニュアル（この冊子） | <input type="checkbox"/> ボランティアウェアとキャップ | <input type="checkbox"/> スタッフパス |
| <input type="checkbox"/> 時計（もしくは時刻が確認できるもの） | <input type="checkbox"/> 防寒具（カイロなど） | <input type="checkbox"/> 携帯電話、スマートフォン（お持ちの場合） |
| <input type="checkbox"/> 雨具（透明ビニールレインコートなど） | <input type="checkbox"/> 筆記用具 | <input type="checkbox"/> 体調管理チェックシート |
| <input type="checkbox"/> マスク（不織布） | | |

4 個人の貴重品、荷物など

- ①ボランティアの荷物置き場、預かり場所はありません。
- ②ウエストポーチやリュックなど必ずご自分の身に着けられるもので自己管理してください。
- ③貴重品や荷物の盗難、紛失に関して主催者側は一切責任を負いません。

5 服装識別

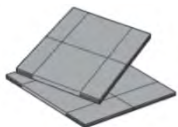
担当	帽子	ウェア	ピブス
救護所主任(市職員)	白色	オレンジ色	水色
ボランティア	白色	黄色	なし
移動AED隊	赤色	赤色	なし
AEDサポート隊	なし	なし	赤色

担当	帽子	ウェア	ピブス
医師	赤色	赤色	白色
看護師	赤色	赤色	白色
理学療法士	赤色	赤色	白色
審判員	JAAF □□有	JAAF □□有	なし

6 ゴミの分別について

① 段ボール

- 段ボール



② ペットボトル

- ペットボトルとキャップ



キャップは外して一緒のゴミ袋に入れる。ラベルはそのまま。

③ その他

- 紙コップ



- 紙コップ以外の燃えるゴミ



- 燃えないゴミ



7 心得

北九州マラソンに関わるみなさまへ

ボランティアの皆さんには、市内はもちろん全国から参加する1万2千人を超えるランナーが安全・安心に大会を楽しめるよう、運営をサポートしていただきます。活動にあたって、いくつかのお願いごとがありますので、ご協力よろしくお願いします。

心得① 『とにもかくにも安全第一!!』

ランナー、ボランティア、応援の方、大会関係者、通行する人や車、近隣にお住いの方や事業所の皆さんなど、すべての方にとって安全に大会を運営できるよう、それぞれの場所にご留意いただきながら活動をお願いします。

また、具合の悪いランナーやボランティアなどがいた際は迷わず対応できるよう、救護本部に連絡、または119番通報する流れを把握しておきましょう。(当マニュアルの背表紙に記載しています)

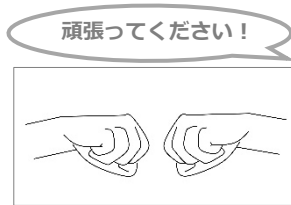
マスクをしていても
笑顔は伝わります!!

心得② 『ボランティアの笑顔なくしてランナーの笑顔なし!!』

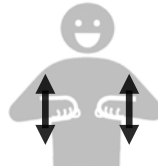
「がんばってる人を見たら、ほっとけんちゃね！」とキタキュー人の熱〜い気質で、良い意味でのお節介(=おもてなし)をお願いします。みなさんの温かい心づかいと笑顔のおもてなしは、きっとランナーの心に残ることでしょう。

外国人や障害のあるランナーも参加しています。筆談・手話など特性に応じたコミュニケーションをとる、要補助者用更衣室(スタート会場・フィニッシュ会場のみ)の場所を案内できるようにしておくなど、すべてのランナーにサポート・応援の気持ちを示しましょう。

応援の気持ちを示す手話



両手をグーにして、両腕を胸の前で水平に構える。
両手をグーのまま、上下に2回動かす。



左手のひらを下にしてグーにする。右手もグーにして、左手首を2回たたく。



心得③ 『マナーアップでみんなニッコリ!!』

すべての方にとって、気持ちの良い大会になるよう、マナーアップにご協力ください。

①活動場所への移動には、公共交通機関を利用しましょう。②ごみ拾いにご協力をお願いします。③長時間にわたる活動場所では交替で休憩をとるなど、助け合いながら活動しましょう。④許可された施設・店舗以外でのトイレや休憩はお控えください。⑤ボランティア用のウェアは目印です。一番上(コートなどの上)に着用してください。ただし、休憩中はウェアを脱いでください。

8 押さえておきたいポイント

●個人の方は・・・

①集合時間・場所の確認

スタッフパスとマニュアルにご自身で記入してください。
氏名とニックネーム(任意)もご記入ください。

②活動内容の確認

自分の担当区(活動場所)と位置(目印となる建物など)を必ず確認してください。

③当日は、必ずボランティアウェア・キャップを着用(スタッフパスは貼付)

スタッフパスは見える位置に貼り、マニュアルも持参してください。

④救護所のリーダーは

『北九州市職員(救護所主任)』

当日は、市職員・救護本部の指示により活動を行ってください。

⑤●傷病者対応に困ったら、スタッフパスに記載の「救護本部」に連絡!!

●意識がない方を見つけたら、迷わず119番に通報!!
あわてずに、落ち着いて対応しましょう。何よりもまず命が大優先です。緊急時は迷わず119番に通報してください。

●団体・グループの代表者は、メンバーに対して・・・

①集合時間・場所の伝達

スタッフパスとマニュアルにご自身で記入してもらってください。氏名とニックネーム(任意)、団体・グループ名もご記入ください。

②活動内容・注意事項の伝達

各々の担当係と活動場所の位置(目印となる建物など)を必ず確認してしてもらってください。

③スタッフパスとボランティアウェア・キャップ(無い人のみ)を渡し、当日は、必ず持参し着用する旨を伝達

スタッフパスは見える位置に貼り、マニュアルも持参するようお伝えください。スタート会場、フィニッシュ会場はスタッフパスが無いと入場できない旨も伝えてください。

④救護所のリーダーは北九州市職員であることを伝達

当日は、市職員(救護所主任)の指示により活動することを伝えてください。

⑤●傷病者対応に困ったら、スタッフパスの表面に記載の「救護本部」に連絡!!

●意識がない方を見つけたら、迷わず119番に通報する旨を伝達

あわてずに、落ち着いて対応すること。何よりもまず命を最優先して、緊急時は迷わず通報するよう伝えてください。

大会を安心・安全に実施するために

【新型コロナウイルス感染症予防対策】

今大会は、安心・安全を最優先に大会を実施するにあたり、国の感染症予防対策や日本陸上競技連盟の「ロードレース開催についてのガイダンス」に基づき、感染状況に応じた対策を講じます。

また、コロナ禍において、北九州マラソンを安全に開催するためには、ボランティアの方を含め、大会関係者の皆さまのご協力が不可欠です。

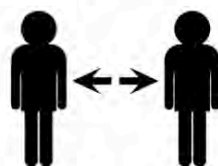
毎年ご協力をいただいているボランティアの皆さんには「いつもと違うな」と感じることもありますが、感染予防対策の徹底についてご協力をよろしくお願いします。

ボランティア活動に際して守っていただくこと

大会前後の体調管理 および検温の実施



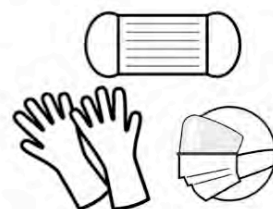
フィジカル ディスタンス の確保



手指消毒の徹底



不織布マスク、手袋、 アイガード等の装着



※活動内容により異なる（下記参照）

大声は出さず 不必要な会話は控える



拍手で応援し ハイタッチはしない



机の上などを こまめに除菌



休憩や昼食の際は は向かい合わない 会話はしない



【体調管理チェックシートの提出について】

各集合場所で、市職員・ボランティアリーダーに体調管理チェックシートを提出してください。

【活動内容別 感染対策装着品】

活動開始前に、市職員が装着品を配布します。アイガードの装着にあたり、不織布マスクの装着が必要となりますご注意ください。（可能な限り、自宅から不織布マスクをご着用の上、ご参加ください。）

ボランティア活動内容		マスク	アイガード	ビニール手袋	医療用ガウン
救護所	医療関係者	○ (発熱者対応時は N95マスク)	○	○	○ 発熱者対応時
	ボランティアスタッフ	○	○	△	—
AED隊		○	○	○	—

※ボランティアスタッフはこまめに手指消毒を行ってください。ビニール手袋を装着する場合は、定期的にとりかえてください。

会場図 ①コースマップ



エイドステーション

記号	場所	距離
5km (第1)	三条橋交差点	5.0km
8km (第2)	いのちのたび博物館前	7.5km
10km (第3)	九州大附属宮元入口交差点	10.0km
13km (第4)	新池1丁目交差点先	12.6km
15km (第5)	真境高橋先	15.5km
18km (第6)	ローン北洲ラッツクラブショップ前	17.9km
20km (第7)	小倉駅(新幹線口)交差点	20.4km
23km (第8)	赤坂海岸交差点先	23.0km
25km (第9)	門司駅前北交差点手前	25.4km
27km (第10)	ニッポンマシーア門司工場前	27.2km
30km (第11)	西海岸2号上屋前	30.4km
30km (第12)	西海岸2号下屋前	30.4km
35km (第13)	ニッポンマシーア門司工場前	35.3km
38km (第14)	照葉スバリソート前	37.7km
40km (第15)	延命寺臨海公園前	39.9km

コース上のエイドステーションは、様々な企業が運営を行い、ランナーの皆様をサポートします。

収容関門

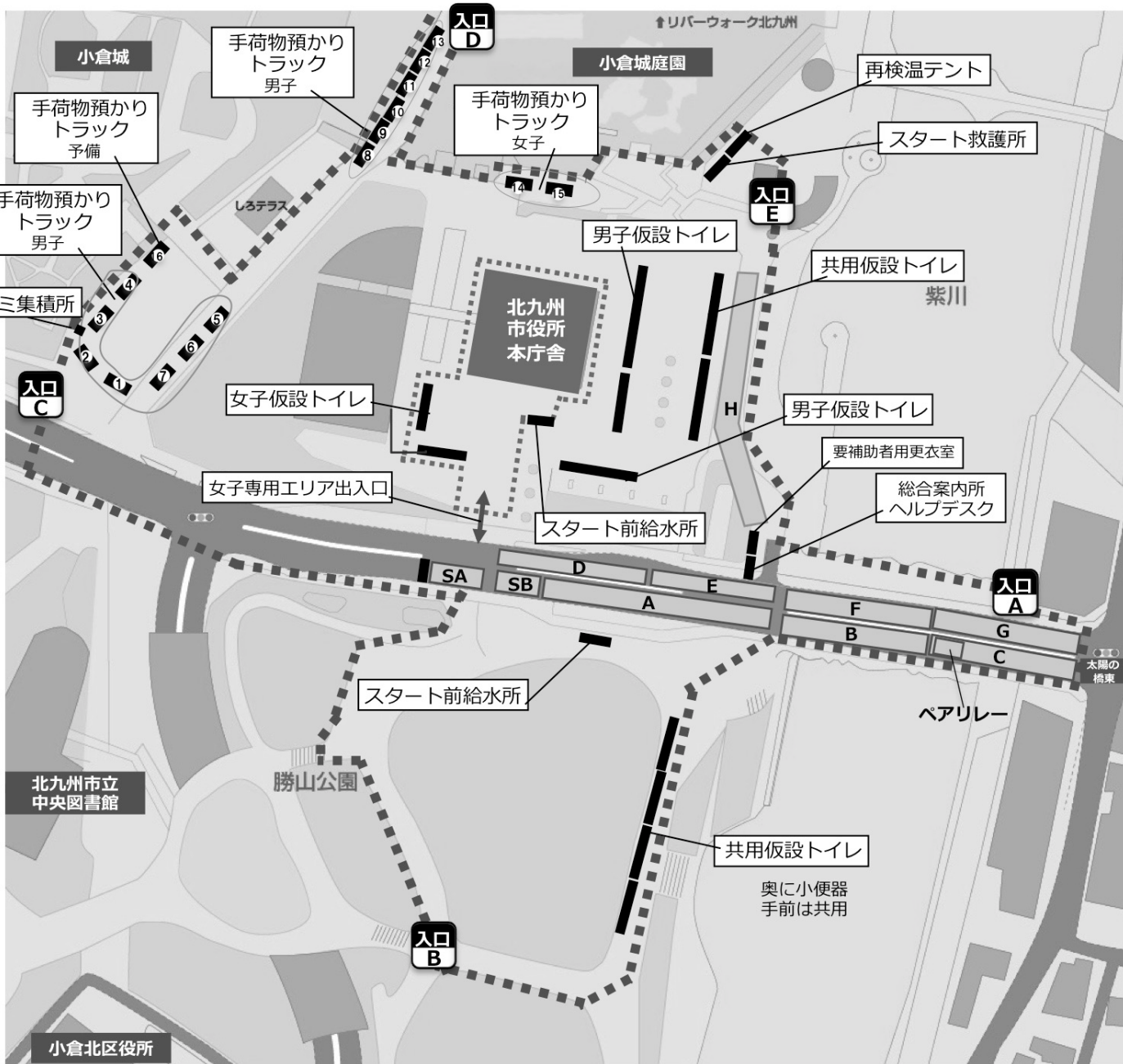
記号	場所	距離	閉鎖時刻
3km 関門	到津の森公園前	3.1km	9:40
8km 関門	いのちのたび博物館前	7.5km	10:16
11km 関門	牧山交差点	11.3km	10:47
15km 関門	真境高橋下	15.3km	11:19
20km 関門	小倉駅(新幹線口)交差点手前	20.3km	12:00
25km 関門	門司駅前北交差点	25.5km	12:43
29km 関門	シーサイドプラザ前	28.8km	13:10
32km 関門	西海岸駐車場前	32.0km	13:36
36km 関門	関門ロジスティクス	35.8km	14:07
40km 関門	赤坂海岸交差点	39.9km	14:40

収容所は、8km以上の収容関門に併設しています。

重要
緊急車両の通行、進入について
レース中に、コース上で緊急車両が通行する場合は緊急車両の通行を優先するため、ランナーの走行を一時停止していただくことがあります。その際は、必ず係員の指示に従ってください。

コースマップ
トイレはコース上の約1km毎に設置しています。必ず所定の場所にてお願いします。
※ポランテアや応答者も利用しますので、譲り合ってください。
※沿道の店舗等のトイレは使用しないでください。
1km毎と中間点に距離表示があります。また、フィニッシュまで残り5kmから1km毎の表示も行います。

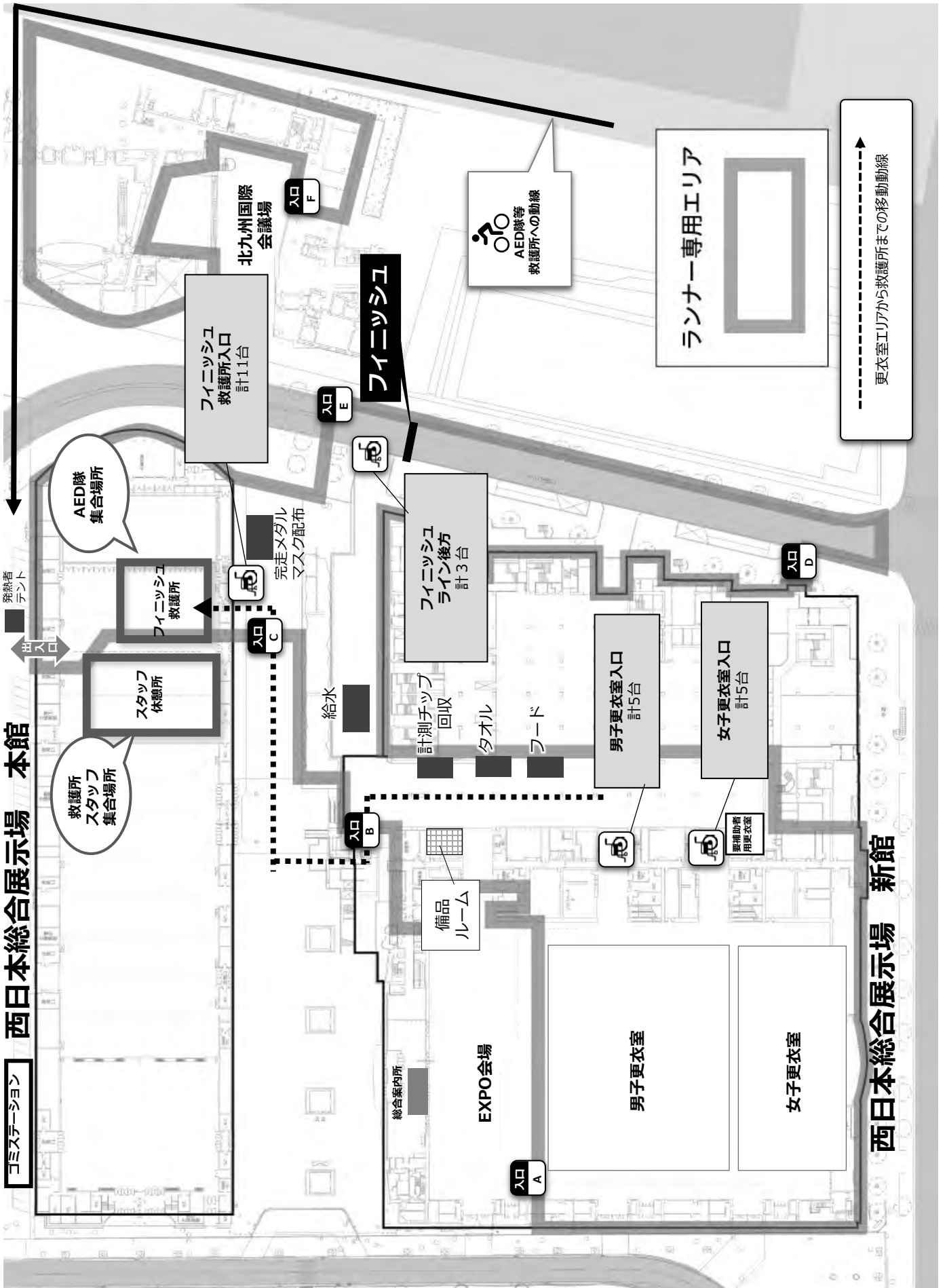
会場図 ②スタート会場図



※6時00分からは、本庁舎を中心に女子専用エリアが設けられます。(図面 :..... 枠内) 6時00分以降に集合等、本庁舎に入る必要のある方は、「女子専用エリア入口」でスタッフパスを提示してください。

※本庁舎の「地下1階、1階、3階、4階」の男子トイレも女子専用トイレになります。男性は「屋外の仮設トイレ」もしくは「本庁舎2階の男子トイレ」をご利用ください。

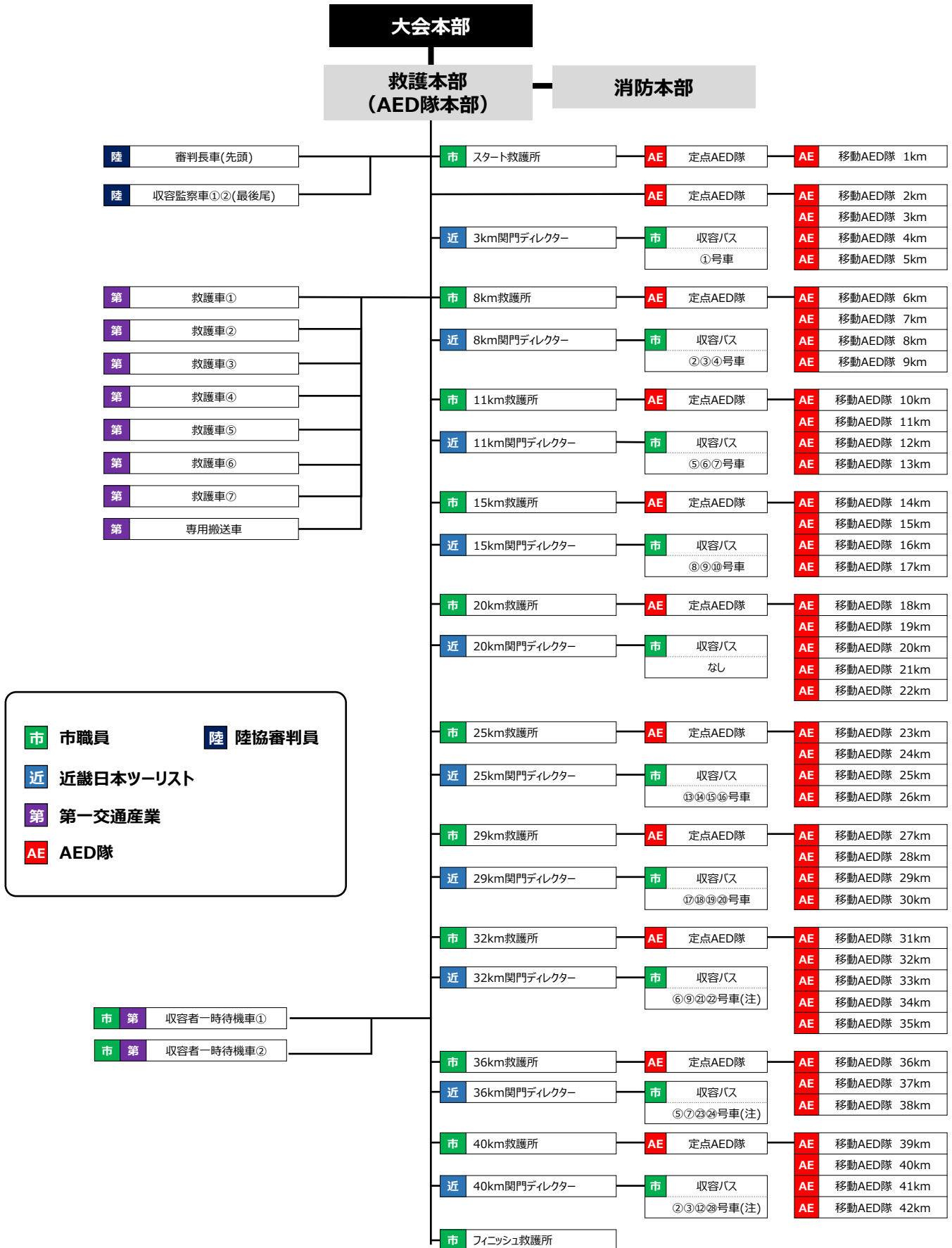
会場図 ③フィニッシュ会場図



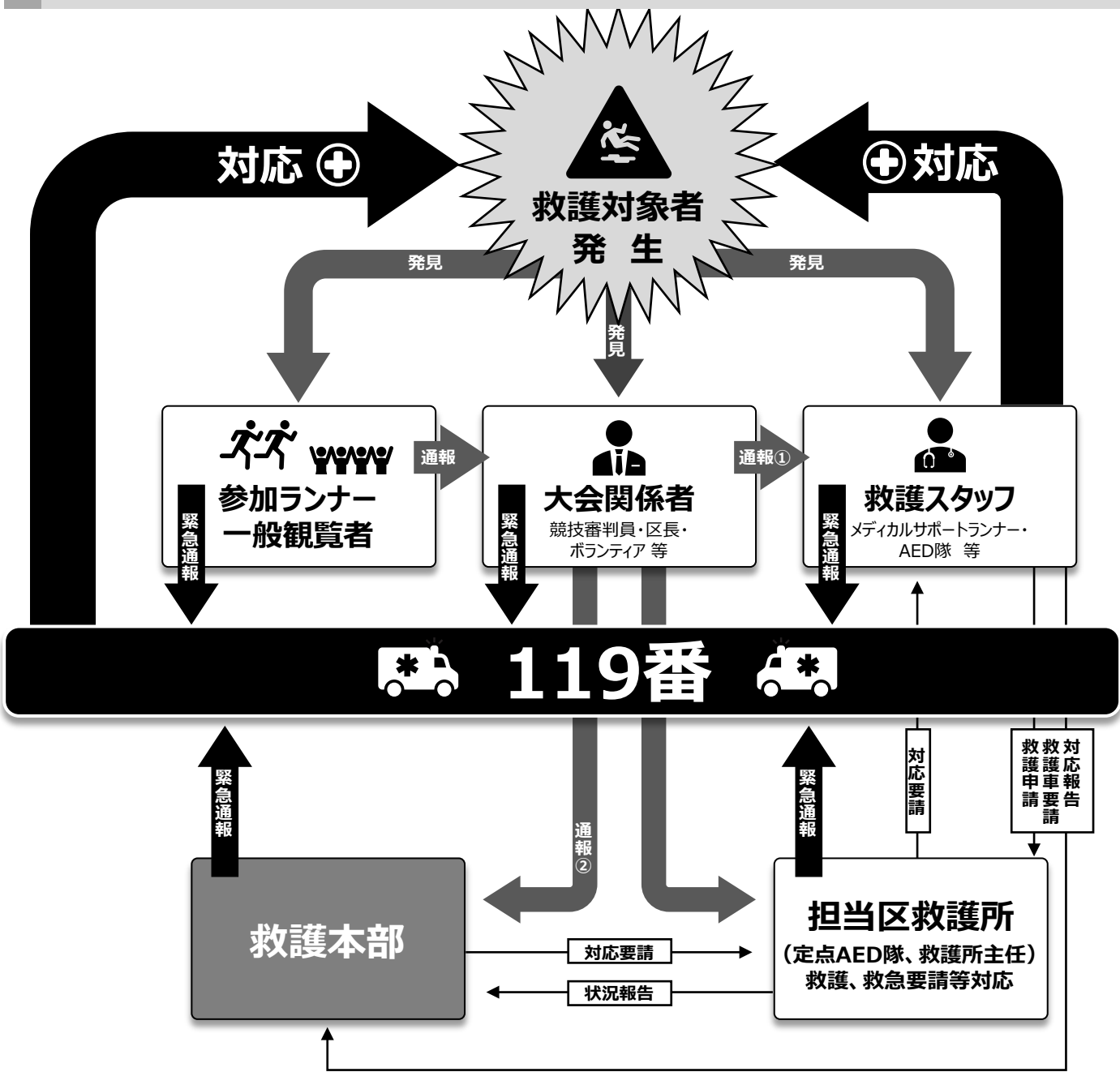
救護連絡体制

1 組織体制

救護所主任には、大会当日に別紙にて電話番号入り確定版を配付。



2 緊急時連絡体制



通報① 周辺に「救護スタッフ」が居ないか探す。

通報② 「担当区救護所」と連絡が出来ない場合、「救護本部」へ対応要請。

緊急通報 明らかに緊急を要する場合、直接「119」番へ連絡。

⊕ コース途中で動けなくなったランナーへの対応（救急搬送以外）

① 救護本部に連絡が入る。

② 救護本部はランナーを救護所に運ぶ手段を考え、救護所及び救護車に指示。

① 救護車の活用

▼ 救護車に車イスを積んでコース外の道路を通りランナーのところに行く。（理学療法士等が救護車に同乗）

▼ ランナーを乗せ、救護所へ連れて行く。

② 救護所からの車イス

救護所から近いところに動けなくなったランナーがいた場合、理学療法士等が車イスを押してランナーを迎えに行き、救護所に運ぶ。

救護体制・業務役割について

1 目的

- ①北九州マラソンを安全に実施するための体制を確立する。
- ②ランナー、ボランティア、観客、スタッフ、警備員等に事故が起こった際に応急処置、早期初期治療及び速やかな救急搬送により、被害を最小限に抑える。
- ③競技中の事故を未然に防ぐ。

2 救護本部について

P.52

救護本部



- フィニッシュ会場の大会本部(西日本総合展示場新館3F)に、救護本部を設置。
- 救護本部は消防本部・警察本部と隣接し、救急救護情報を常時共有する。
- コース上の各救護所などの情報を収集し、判断、指示を行う。
- 救護者数を把握する。
- 救急搬送患者の状況把握とその事後対応。
- 必要に応じ、救護者の緊急連絡先の検索と連絡。

3 救護所について

P.13

救護所



- スタート会場、フィニッシュ会場、コース上の9ヶ所に救護所を設置する(関門に併設)。
- 各救護所には、「医師、看護師、理学療法士、市職員、救護ボランティア、定点AED隊」等を配置。
- 歩行困難なランナー(緊急度・低)を救護所に運ぶため、各救護所付近に救護車が待機する。

[救護所の役割]

- 簡易な医薬品を準備し、応急処置、一次救命を行う。
- ランナーの走行コンディションの回復を目的に完走をほう助するものではない。重篤な傷害の予防を目的とする場合は、救護所の一時的利用を促す。

▲ 救護所では、テーピング・湿布・消炎スプレーなどリカバリーのための処置は行わない。

救護所主任(市職員)



- ①救護所スタッフの業務管理。集合時の検温及び体調管理チェックシートの確認。
- ②必要な備品類、什器類、書類などの資材管理を行う。
- ③ボランティアと協力し、医療スタッフが円滑に活動出来るようサポートする。
- ④定点AED隊とコミュニケーションをとり、救護所とAED隊の連携を図る。
- ⑤救急搬送時の同行

医師



- ①救護所内傷病者の状態把握、観察、処置及び看護師・理学療法士への処置を指示。診療録の記入。
- ②救急、救護事案発生時のトリアージ、対応判断、緊急時の一次救命処置。

看護師



- ①来所者のトリアージ。
- ②軽微な擦傷、切傷、捻挫等に対する一般的な応急処置及び医師の指示に基づく患者の処置。診療録の記入。
- ③医療備品などの準備、残数管理、医療廃棄物の分別回収。

理学療法士



- ①医師、看護師と連携し、軽微な処置を要する者への対応。診療録の記入。
- ②救護車や車イスにより歩行困難なランナーの救助を行う。

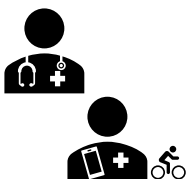
ボランティア



- ①傷病者の案内、誘導、入退室管理簿の記入。診療録の上段部分を記入し医師、看護師へ引継ぐ。
- ②歩行困難なランナーの救護者の救護車への乗降や、車イスの補助などを行う。
- ③救護所主任の補助を行う。

4 AED隊について <定点AED隊、移動AED隊、AEDサポート隊>

P.44



- 「定点AED隊」は各救護所に待機し、「移動AED隊」に指示や連絡を行う。※3km定点AED隊は、関門で待機。
- 「移動AED隊」はAEDを携帯し自転車で移動する。「AEDサポート隊」はコース沿いに立ってランナーを見守る。
- 「移動AED隊」は通信体制を有し、緊急時には自転車で救急事案発生地点に急行し、救命処置を行う。
- 「移動AED隊」「AEDサポート隊」は軽微な傷害(筋けいれんなど)についても可能な限り(救命業務に支障のない範囲で)サポートする。
- 「移動AED隊」は最後尾ランナー通過後、コース内を走行しながらフィニッシュ会場へ向かう。

5 メディカルサポートランナーについて



- 公募したメディカルサポートランナー(医師、看護師、救急救命士、アスレティックトレーナーの資格を有する)にはあらかじめ大会が定めたペースで走ってもらい、参加者の安全を見守ってもらう。
- ビブス(赤色)を着用し、緊急事案発生時には迅速な一次救命を行う。
- 公募したメディカルサポートランナーは前日受付のうえ、前半担当者はスタートから、後半担当者はペアリレーマラソン中継点からスタートする。
- 公募以外(通常参加者)の中で医師、看護師、救急救命士、アスレティックトレーナーの資格を有する方で「メディカルサポートランナー」としてご協力いただける方には、「メディカルサポート」のゼッケンを背中につけて走ってもらい、緊急時には救急救命活動をお願いする。(前日受付の際に受付会場内のヘルプデスクで申出て受付を行う。)

6 救護車(タクシー)について ※ドライバー：第一交通産業



- 歩行困難者(緊急度・低)を救護所へ運ぶための車両。救護所付近に待機している第一交通産業のタクシー。原則、救護本部の指示で動く。本部から救護所へ連絡があった場合は、救護所の車イスを持って行き乗り込む。救護車を利用したランナーは棄権となる。

⚠ スタート・29km・36km・フィニッシュ救護所には配車されないので注意！

⚠ 25kmには、専用搬送車を配置

- ①緊急対応を要さない歩行困難者に対応する。
- ②各救護所付近に待機し、原則救護本部の指示で出動する。(救護車待機場所は各救護所詳細図を参照)
- ③必ず理学療法士もしくはボランティアが同乗し、歩行困難者を救護車に乗せ救護所に運ぶ。
救護車ドライバーのみの救護搬送や補助は行わないこと。
- ④車イスを積み、コース内は走行せず並行する道路を走行。歩行困難者近くの交差点まで行き、車イスを利用して乗車。
- ⑤救護車ドライバーはGPS機能付きスマートフォンを持ち、現在地がわかるようにする。

7 収容者一時待機車について ※収容者一時待機車管理係：市職員、ドライバー：第一交通産業

P.48



- 救護所(収容関門)から離れた場所で棄権したランナーの低体温症を防止するため、一時待機場所としてワンボックスカーを配備する。
- 25km～36kmの救護所の間に2ヶ所配備する。
- 棄権したランナーは、最後尾バスの到着を車内で待つ。

8 収容バス管理係(市職員)について



- ①救護所に到着後、ランナーが通過するまでの間は、救護所内で救護所主任を補助する。
- ②救護所周辺に駐車している収容バス内において、乗車した収容者の状況を観察する。
体調に異変等が生じた収容者を発見した場合、救護所スタッフへの連絡や119番通報など適切な対応をとる。
- ③必要に応じて、毛布やドリンクを乗車したランナーに渡す。
- ④救護所閉鎖後は、救護所スタッフと共に輸送バスでフィニッシュ会場まで戻り解散(現地解散も可)。

9 収容関門ディレクター(近畿日本ツーリスト)について



- ①各収容関門で、「スタッフ輸送バス」「収容バス」の管理を行う。
- ②救護所および収容バス内の備品の管理を行い、必要に応じて備品の不足している関門等に輸送を指示する。
- ③関門閉鎖後、8、11、15km救護所の「車イス」と「必要備品箱」を収容バスに乗せる。

10 特設救急隊(救急車)について



- 「29km救護所」「フィニッシュ救護所」には、「特設救急隊(救急車)」が待機し、緊急時に備える。
- 救急隊は、救護所業務は行わない。

救護所

スタート救護所は、P.19
フィニッシュ救護所は、P.41を参照。

1 集合について

カテゴリー	担当先	集合時間	集合場所
救護所主任 (市職員)	前半(8、11、15km)	7:00	西日本総合展示場本館 スタッフ休憩所
	後半(20、25、29、32、36、40km救護所、フィニッシュ救護所)	7:50	※収容者一時待機車管理係の市職員のみ、 現地集合・現地解散。
医師、看護師 理学療法士 ボランティア	前半(8、11、15km)	7:20	西日本総合展示場本館 スタッフ休憩所
	後半(20、25、29、32、36、40km、フィニッシュ救護所)	8:10	

●集合場所



2 移動について (集合時・解散時)

- ①下記の表で、“行き先、移動バス、方法、出発時間”を確認すること。
- ②原則、各バスは下記の通り出発するため、“各救護所主任(市職員)”は速やかに各救護所ごとの乗車確認を行う。

▲ 8、11、15km救護所は救護スタッフに加えて、AED隊もバスに同乗するため、救護所主任(市職員)は“AED隊のリーダーに点呼状況”を確認すること。

●移動方法とバスの発着時間

行き先	行き		帰り		
	移動バス・方法	出発時刻	到着時刻	移動バス・方法	現地出発時刻
8km救護所行き	▲ 収容バス 4号車	7:45	8:15	輸送バス 12号車	11:10
11km救護所行き	▲ 収容バス 7号車	7:45	8:15	輸送バス 12号車	11:20
15km救護所行き	▲ 収容バス 10号車	7:45	8:05	収容バス 1号車	12:10
20km救護所	徒歩	8:30	-	徒歩でフィニッシュ救護所へ	12:30
25km救護所行き	収容バス 16号車	8:30	9:00	収容バス 4号車	15:00
29km救護所行き	収容バス 19号車	8:30	8:55	収容バス 11号車	15:00
32km救護所行き	収容バス 23号車	8:30	9:00	収容バス 6号車	14:50
36km救護所行き	収容バス 16号車	8:30	8:50	収容バス 1号車	15:00
40km救護所行き	収容バス 29号車	8:30	8:45	収容バス 7号車	15:10
				収容バス 12号車	15:20

3 救護所主任（市職員）

① 集合時

- ① 担当救護所の人員を体制図にて確認のうえ、検温と体調管理チェックシートの確認を行い、所定の集合場所にて点呼を行う。
[点呼対象] 医師、看護師、理学療法士、ボランティア、救護所主任、収容バス管理係
＜補足1＞AED隊は別会場でAED隊隊長が点呼。定点AED隊（A、B）は救護所で活動する。
＜補足2＞収容者一時待機車管理係（市職員）は、現地集合・解散につき点呼不要。
- ② 救護所内のコミュニケーションを円滑にするため、出発までの空き時間に**必ず全員の自己紹介**を行う。（時間があれば、定点AED隊とも）
- ③ 朝礼後、バス移動の救護所は、担当救護所スタッフを所定のバスへ誘導し、乗車後再点呼する。
★8、11、15km救護所は救護スタッフに加え、AED隊もバスに同乗するため、救護所主任（市職員）は“AED隊のリーダーに点呼状況”を確認すること。
★全員揃ったらバス管理ディレクター（近畿日本ツーリスト）に「〇km救護所出発できます」と伝えること。
- ④ バス管理ディレクターの指示で出発。

② 到着時

- ① 救護所内に置いてある什器類を確認する。**救護所内には関門やコースで使う備品も分類して置いてあるので間違わぬよう注意すること。**
- ② 「救護所主任」のピブスを一番上に着用し、他のスタッフにも該当するピブスを配布する。
- ③ 全員で什器類を配置し、開所の準備をする。レイアウトは医療スタッフと相談しながら全員で協力して設営する。
レイアウト例（P.15参照）はあくまで参考であり、天候等に応じて臨機応変に対応する。
- ④ ランナー到着までに、医療スタッフと一緒に血圧計、体温計（耳式と脇用）など備品の確認をする。
不足や動作不良については、資材本部（救護所専用）へ連絡する。
- ⑤ ランナー到着までに、待機している救護車の場所を確認する。
「スタート」「29km救護所」「36km救護所」は救護車は無い。「11km救護所」「15km救護所」は、救護車が到着する場所を確認する。
なお、「32km救護所は3km関門」より、「25km救護所は8km救護所」より転配されるため、その際、確認する。
（※25km救護所は専用搬送車を配置）
- ⑥ マニュアルで各スタッフの作業内容や手順を全員で再確認し、ランナーの受入れに備える。

③ 開所時

- ① ボランティアと協力し、医療スタッフが円滑に活動出来るようサポートする。（状況に応じて、手袋・アイガードを着用する。）
- ② 災害時や緊急時には、救護本部および救護所の定点AED隊との連絡調整を行う。
- ③ 「フィニッシュ救護所」は、閉所した救護所のスタッフが応援に来るので、その人員を事前に把握し、
スタッフ到着時に各セクションへ引き継ぐ。スタート、フィニッシュ会場はスタッフバスがないと入れないので忘れないよう注意。
- ④ スタッフの休憩管理を行う。11km救護所～フィニッシュ救護所は軽食管理も行う。
- ⑤ 「スタート救護所」「8km救護所」において閉所後に別の救護所へ移動するスタッフは移動先の救護所で軽食をとる。

● 軽食配布場所（兼休憩所） ※早めに軽食をおとりください。

11km救護所 牧山市民センター	15km救護所 真颯館高校下	20km救護所 西日本総合展示場 本館スタッフ休憩所	25km救護所 門司赤煉瓦プレイス	29km救護所 ナフコシーサイド店 駐車場バス
32km救護所 旧大連航路上屋 2階ホール	36km救護所 関門ロジスティクス 駐車場バス	40km救護所 コゲツ産業駐車場バス	フィニッシュ救護所 西日本総合展示場 本館スタッフ休憩所	

④ 閉所時

- ① 救護所備品の使用状況、残数確認を行い、備品残数調査票を記入する。入退室管理簿、診療録、備品残数調査票など帳票類を集計、回収し、フィニッシュ救護所の帳票提出箱へ入れる。
● スタート救護所……フィニッシュ救護所へ徒歩で移動。必要備品を箱に入れて持って行く。
● 8、11、15km救護所……車イスと箱に入れた必要備品を関門ディレクター（近畿日本ツーリスト）に渡す。
交通規制解除後、輸送バス（小倉駅北口行）でフィニッシュ救護所へ移動。
※フィニッシュ救護所は午後から特に混雑するため、早めに軽食をおとりください。
● 20km救護所……軽食を取り、フィニッシュ救護所へ。必要備品を箱に入れて徒歩で移動。

【必要備品】 フィニッシュ救護所で再利用する血圧計・体温計・アルミックシート・テープ類・メディカルシーツ・パルスオキシメーター・アイガード・医療用ガウン・医療用ゴム手袋・N95マスク・アンビユー

- ② 帰りの輸送バス乗車時、スタッフの点呼を行い、出発の指示を出す。（希望者は現地解散可、AEDサポート隊も乗車可）
- ③ 救護所主任リーダーの携帯電話は、「フィニッシュ救護所」の救護所主任に返却する。帳票類、パルスオキシメーターも忘れずに提出する。
- ④ 全救護所の帳票類と携帯電話は、フィニッシュ救護所の閉鎖時（16時頃）に救護本部が回収する。

4 救護所の設営について

①このレイアウトはあくまで見本ですので各救護所で自由に設営していただいてもかまいません。

机やベッド、ストーブなど各救護所の現状に合わせて、使い易いように配置してください。

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため椅子の向きを同じにする(向かい合わせにしない)。密を防ぐなど留意してください。

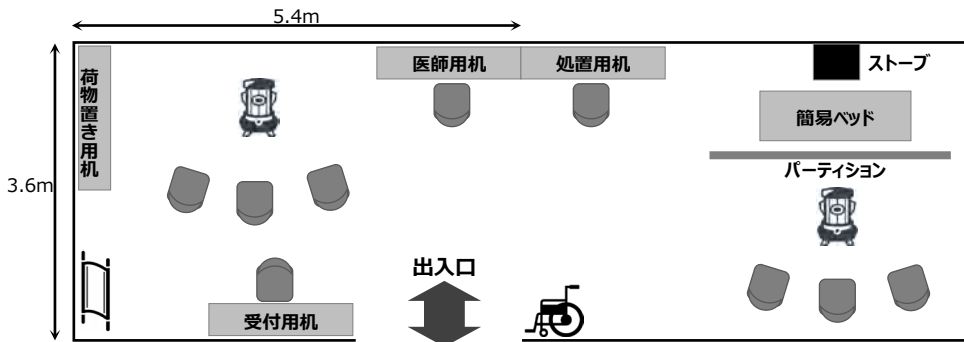
②救護所主任は医師、看護師らに相談しながら、救護所スタッフ全員で設営作業を進めてください。

③新型コロナウイルス感染症予防対策のため、暖房中であっても、テントの一部を開放しておくなど常に換気を行ってください。

※感染疑い者発生時は、パーティションを使って空間を仕切るなど、レイアウトの変更や工夫をお願いします。

①テント2張のレイアウト例

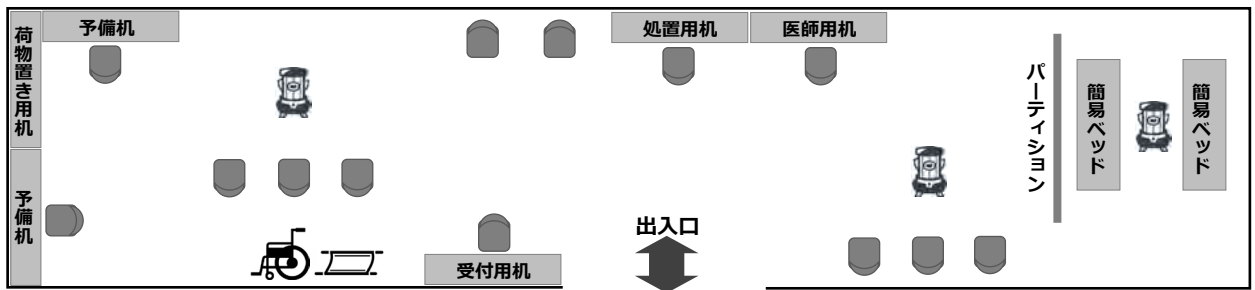
8km、11km、15km、20km救護所



「8km救護所」は、テントが1張なので上記の図と出入口や形状が異なります。

②テント3張のレイアウト例

25km、29km、32km、36km、40km救護所



32km救護所は「旧大連航路上屋多目的室B」内なので上記の図と出入口や形状が異なります。

また、暖房設備があるためストーブはありません(火気厳禁のため、館内でストーブは使用出来ません)。



設置イメージ →



③救護所案内看板の設置

①救護所看板は、救護所近くのコース寄りにランナーに見えるように設置してください。

②看板が人垣や風などで倒れないように、随時、注意してください。

5 救護所の閉所について (最後尾ランナー通過後)

①救護所主任…各設営物、備品の整理撤去、ゴミ処理の指示。備品残量調査表の記入を行う。

②救護所主任(保健師)または看護師…医療廃棄物を段ボールに入れ、フィニッシュ救護所に運ぶ。

③その他スタッフ…▼設営物→元あった場所にまとめる。ストーブ内の灯油は容器に戻す。

▼備品類→使用量を確認し、備品残数調査票に記入。納品時のラックにまとめる。

▼その他のゴミ→分別してゴミ袋へ入れ、1ヶ所にまとめる。

④救護所の閉所後、所定の輸送バスに乗り、フィニッシュ救護所に移動(用務のない者は現地解散可)。

⑤引き続きフィニッシュ救護所で活動にあたる者は、ピンスを忘れずに持って行くこと。

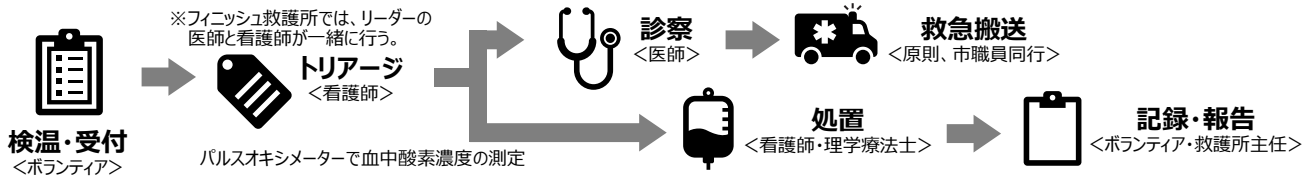
6 救護所での対応手順

① 来訪者をお願いする事項

- ①マスク着用、手指消毒 ②フィジカルディスタンスの確保 ③必要最低限の会話
- ④接触型体温計での検温と、パルスオキシメーターによる血中酸素濃度の測定

② 基本的な流れ

※救護所スタッフはアイガード・手袋・マスクを装着すること。感染疑い者が発生した場合は、N95マスクと医療用ガウンを装着する。



③ 受付

- 担当/ボランティアスタッフ
- 内容/①「入退室管理簿」に、ランナーのナンバー、入所時間を記入し、検温する。
②「診療録」にランナーの「ナンバー、氏名、性別、受付時刻」を記入する。
※受診者がスタッフの場合、「担当業務、部署」を記入する。
※受診者が観客の場合は、連絡先(住所、電話番号)を記入する。
◆フィニッシュ救護所では、ランナーの入退室情報をホワイトボードに記入する。

④ トリアージ

- 担当/看護師（◆フィニッシュ救護所では、リーダーの医師と看護師で一緒に行う。）
- 内容/①医師による診察の要否の判断を行う。
②医師による診察を必要としない時の処置・対応。

⑤ 診察・処置・対応

- 担当/医師、看護師、理学療法士
- 内容/①ランナーの状態に応じた処置・対応を行い、看護師を中心に「診療録」に記録する。
②問題があれば随時、救護本部に連絡し対応を協議する。

⊕ 重症者への対応

- 医師、看護師、救護所主任で対応を協議する。
- 救急要請の必要があるときは119番通報を行う。
- 救急搬送時は原則市職員、場合によっては医師・看護師が救急車に同乗する。
その際、診察者（医師および看護師）は救急搬送される方の「診療録」の写しを作成し、救急隊へ渡す。
診察者が「診療録」の写しを作成するのが難しい場合は、診察者に内容を確認の上、市職員が記入する。
- 病院についた後、救護本部に状況を連絡する。
- 病院からはJR、バス、タクシー等で救護所に戻る。
(運賃等は立替をお願いします。タクシーの場合は領収書をもらう。交通費は事務局が事後に立替者に払う。)

⊕ 感染疑い者への対応

- 発熱等、新型コロナウイルスの感染が疑われる場合は、P.58の手順に沿ってフィニッシュ会場へ搬送する。
- 救急要請の必要があるときは、通常の重症者への対応と同じように、119番通報を行う。

⑤ 記録・報告等

- 担当/ボランティア、救護所主任
- 内容/①「診療録」を回収し、「入退室管理簿」に退所時間を記入する。
②傷病者が回復した場合は競技継続可能。
ただし、救護車や車イスで救護所に搬送されたランナーは失格となるため、その旨を説明。

ランナーが競技を棄権する場合

- 自力歩行が可能なランナーには収容バスを案内する。
- さらなる医療行為が必要と医師が判断した場合は、救護本部へ連絡の上、救急搬送などの指示を仰ぐ。

7 見本

●入退室管理簿

北九州マラソン2023

入退室管理簿

					救護所名		主任氏名		
	ナンバーカード (アルファベット不要)	体温	入所時間	退所時間		ナンバーカード (アルファベット不要)	体温	入所時間	退所時間
1		℃	:	:	31		℃	:	:
2		℃	:	:	32		℃	:	:
3		℃	:	:	33		℃	:	:
4		℃	:	:	34		℃	:	:
5		℃	:	:	35		℃	:	:
6		℃	:	:	36		℃	:	:
7		℃	:	:	37		℃	:	:
8		℃	:	:	38		℃	:	:
9		℃	:	:	39		℃	:	:
10		℃	:	:	40		℃	:	:
11		℃	:	:	41		℃	:	:
12		℃	:	:	42		℃	:	:
13		℃	:	:	43		℃	:	:
14		℃	:	:	44		℃	:	:
15		℃	:	:	45		℃	:	:
16		℃	:	:	46		℃	:	:
17		℃	:	:	47		℃	:	:
18		℃	:	:	48		℃	:	:
19		℃	:	:	49		℃	:	:
20		℃	:	:	50		℃	:	:
21		℃	:	:	51		℃	:	:
22		℃	:	:	52		℃	:	:
23		℃	:	:	53		℃	:	:
24		℃	:	:	54		℃	:	:
25		℃	:	:	55		℃	:	:
26		℃	:	:	56		℃	:	:
27		℃	:	:	57		℃	:	:
28		℃	:	:	58		℃	:	:
29		℃	:	:	59		℃	:	:
30		℃	:	:	60		℃	:	:

※スタッフや観客の場合はナンバーカード欄に氏名、連絡先を記入してください

() 枚目

8 見本

●診療録

キロ救護所	受付時間	:	受付担当:	NO	
	終了時間	:			

診療録

点線枠内はボランティアが記入

ナンバーカード						歳	男・女
氏名							

※ランナー以外の場合

観客	スタッフ(審判・ボランティア・警備・警察)	その他()
住所:	電話:	

レース	継続 ・ 棄権	棄権時	收容バス ・ 救急要請 ・ 自力(JR他)
-----	---------	-----	-----------------------

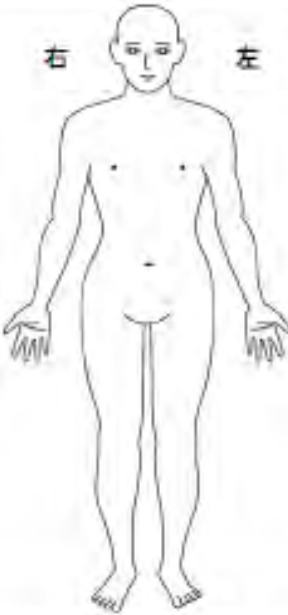
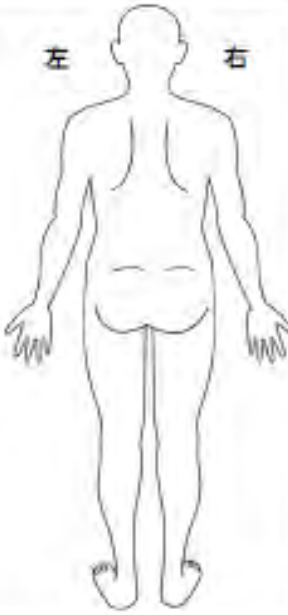
※救急搬送した場合

同乗者	氏名 (電話:)	現地出発時刻	:
		搬送先	

外科的症状	筋痙攣	肉離れ	疼痛	マメ・水疱	擦過
	捻挫	打撲	挫傷・裂傷	その他()	
内科的症狀	震え・低体温	疲労	低血糖	脱水	発熱・熱感
	気分不快	嘔気・嘔吐	下痢	咳	呼吸困難
	動悸	不整脈	頭痛	咽頭痛	胸痛
	腹痛	めまい	混乱	中枢神経障害	意識消失
	その他()				

血圧	/	脈拍	回/min	体温	℃
呼吸数	/1分間	SP02	%		

※計れない場合は低体温値の低い

傷病名	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>右</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>左</p>  </div> </div>
処置	

消毒	カットパン
テーピング	アイシング
ガーゼ・包帯	マッサージ
ストレッチ	水分補給
保温	着替え
その他	

【記載者】

職種	医師・()
署名	
退室確認	<input type="checkbox"/> 一医師に確認の上チェック

スタート救護所

1 集合・解散について

※『スタート救護所』以外の各救護所への現地集合は認めていません

担当 (集合場所)	集合時刻	集合場所	開所時刻	閉所時刻	フィニッシュ救護所へ 出発時刻	閉所後 移動方法
救護所主任(市職員)、 医師、看護師、理学療法士	6:30	スタート救護所	6:45	9:20	9:30	徒歩

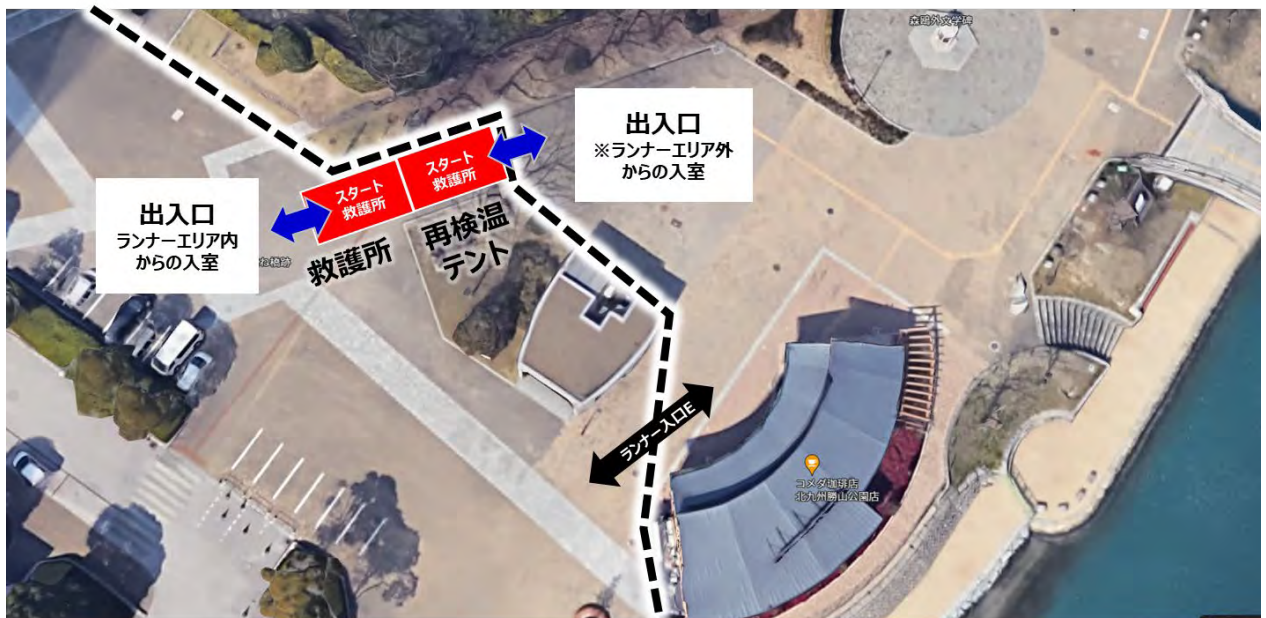
⚠ “スタッフパス”が無いと、「スタート会場エリア」「フィニッシュ会場エリア」に入れないので忘れないように注意。

2 業務内容 救護所主任(市職員)

- ① 集合後、救護所内のコミュニケーションを円滑にするため、必ず全員の自己紹介を行う。(定点AED隊とも顔合わせをすること)
- ② 「スタート会場大会本部」がある市役所本庁舎 2Fスポーツ振興課に、「トランシーバー(1台)」と備品を取りに行く。
※受け取った備品類はスタート救護所閉所後、市役所本庁舎 2Fスポーツ振興課へ返却する。
- ③ スタート時の集団災害・事故発生時の連絡体制は、次項参照。
- ④ 閉所時、「備品残数調査票」を記入する。
記入済みの帳票類は、すべてフィニッシュ救護所へ持って行き、フィニッシュ救護所の帳票提出箱に入れる。
- ⑤ フィニッシュ救護所まで徒歩で移動する。
- ⑥ スタート救護所での備品を再利用するので、P.14に記載の必要備品をフィニッシュ救護所までお持ちください。
- ⑦ 「フィニッシュ救護所」での休憩場所は、西日本総合展示場本館スタッフ休憩所です。軽食は早めにとりください。
- ⑧ 携帯電話は、救護所主任のリーダーが「フィニッシュ救護所」へ持って行き、引き続き使用する。
業務終了後、「フィニッシュ救護所」へ返却する。

3 再検温テントの設置について

- ① 各入場ゲートで37.5℃以上あった場合、会場入場管理係(市職員)から救護所主任へ連絡が入る。
- ② 会場入場管理係がランナーエリア外から再検温テントへ誘導する。
- ③ 救護所主任は、再検温テントにて接触型検温を行う。
- ④ 再検温の結果、37.5℃以上であった場合はお帰りいただく。
- ⑤ 説得が必要な場合は、医師の見解に基づき、救護所主任が行う。



⚠ 救護テント内に感染疑い(発熱・咳等)患者対応のゾーンを設け、出入口も分けておく。
※感染疑い者の入室は、ランナーエリア外からの入室。

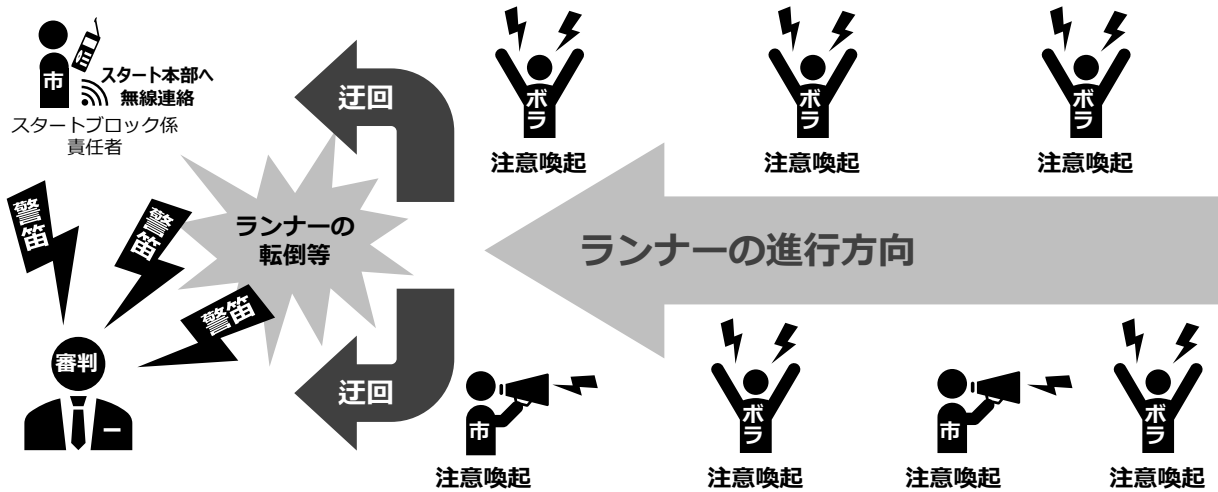
3 スタート時安全管理体制

スタート時のランナーの転倒や、競技中止を余儀なくされる様な緊急事態の安全管理体制は以下の通り。

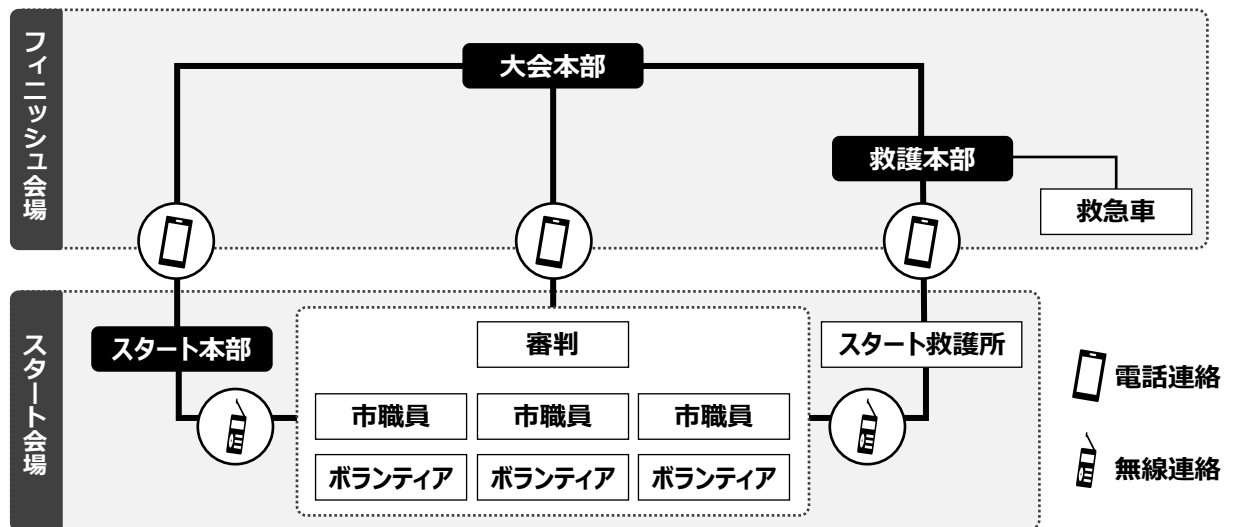
スタート時にコース内（スタートブロック内）で起きた事象の場合

転倒者等がすぐに競技を再開できない場合～後続ランナー迂回避避必要～

- ▼現場に最寄りの審判員は警笛（笛）を鳴らし、市職員（トラメガ）・ボランティアにて注意喚起を行う。
※二次災害を防ぐため、ランナーが通過するまで無理に現場へ近寄らない。
- ▼競技アナウンサーはマイクを使用して注意喚起を行う。
- ▼市職員（スタートブロック係責任者）はスタート本部へ無線連絡し、状況を報告。判断が必要な場合は指示を仰ぐ。
- ▼市職員は、安全に現場に近づける状況を確認し、転倒者等の状況確認を行う。
- ▼転倒者等が傷病の状況であれば、スタート救護所と連携し救護する。



連携・連絡体制



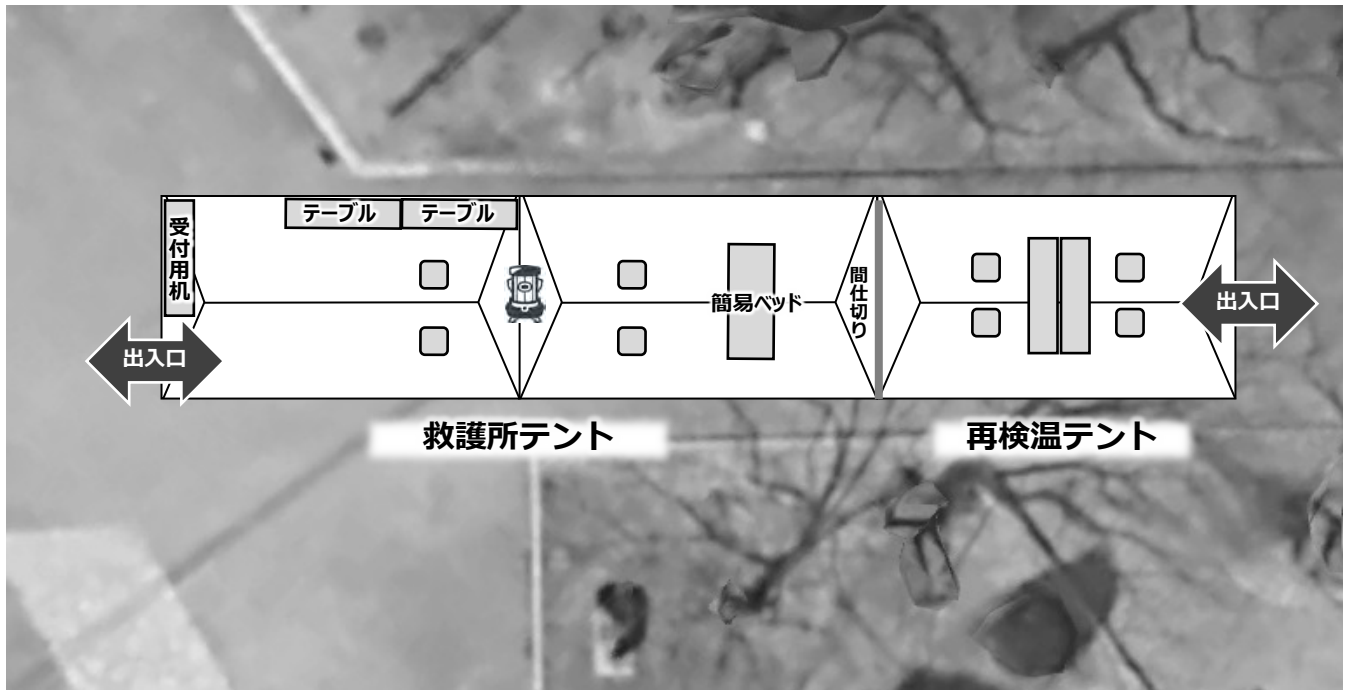
スタート時にコース内外の緊急事態で競技中止の場合

<ランナーおよび関係者の安全確保が必要>

- 現場に最寄りの審判員は警笛（笛）を鳴らし、市職員（トラメガ）・ボランティアにて競技中止を伝達。
- 競技アナウンサーはマイクを使用して競技中止を伝達。
- 避難が必要な状況の際は、状況に応じた避難誘導を行う。 ※屋内避難 = 勝山市営駐車場 ※屋外避難 = 勝山公園

スタート救護所 詳細図

担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	関門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
スタート救護所 (北九州市役所前)	6:30	-	-	-	6:45	9:00	-	9:20	9:30	徒歩

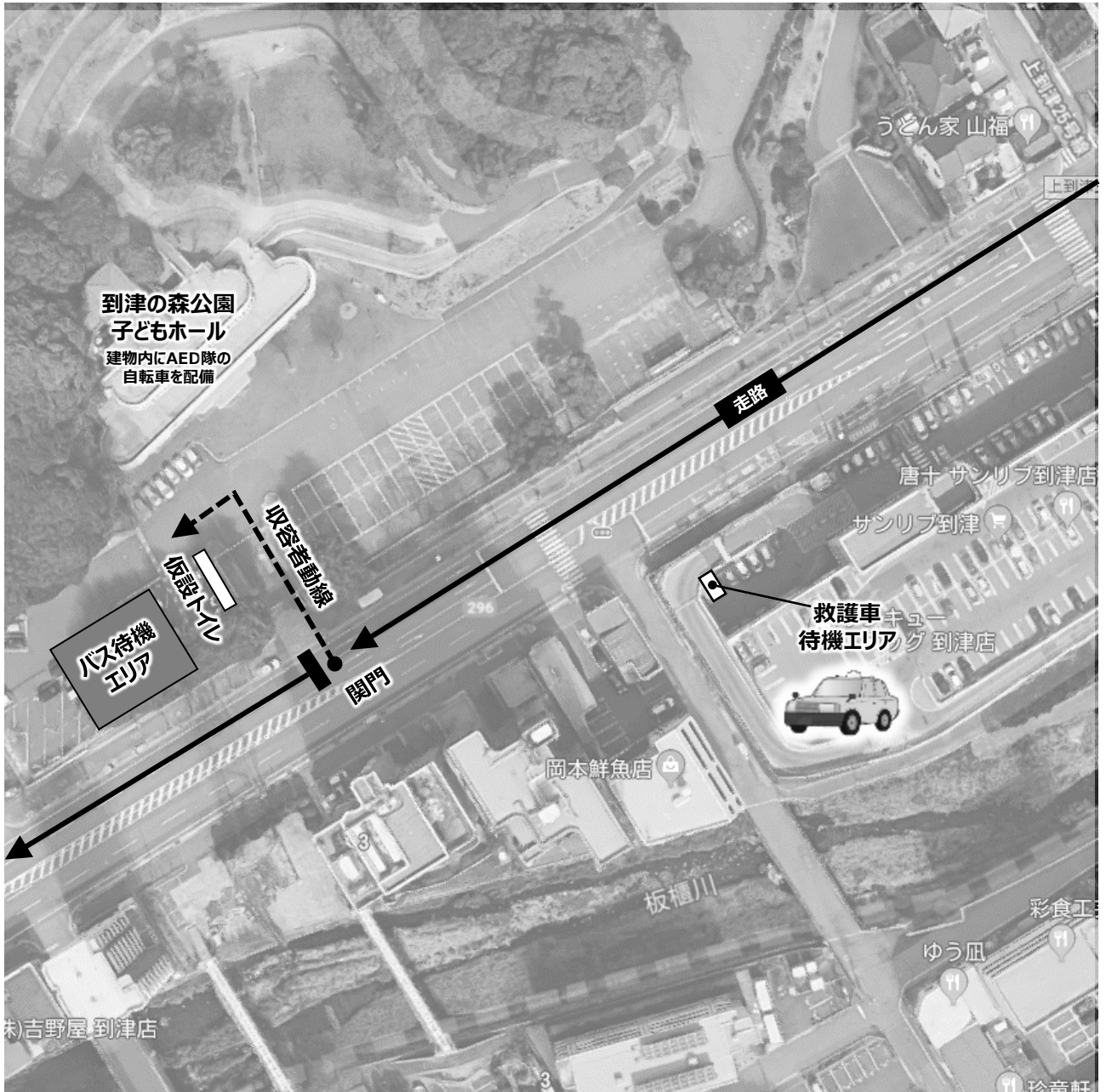


主な設営物	●長テーブル(4本) ●椅子(8脚) ●簡易ベッド(1台) ●担架(1台) ●照明：懐中電灯(2台)
一般備品	●ストーブ ●灯油 ●やかん ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×10本) ●消火器 ●置き時計 ●AED
外傷用備品	●綿棒 ●消毒スプレー ●カットパン(大・中) ●ピンセット ●とげ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウェルパス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ
その他備品	●筆記用具 ●バインダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●嘔吐用ケアバッグ ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●ナプキン ●はさみ ●ふきふき石けん ●キッチンペーパー ●不織布マスク
衣装	●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ピス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任、メディカルサポートランナー)
書類	●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
発熱疑い用備品	●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●パルスオキシメーター(閉所時にフィニッシュ救護所に返却)

3 km関門 詳細図①

1 詳細

担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	関門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
AED隊 ※消防職員含む (西展本館フィニッシュ救護所)	6:50	7:45	輸送バス 13号車	8:05	-	9:10	9:40	-	10:20	輸送バス 13号車

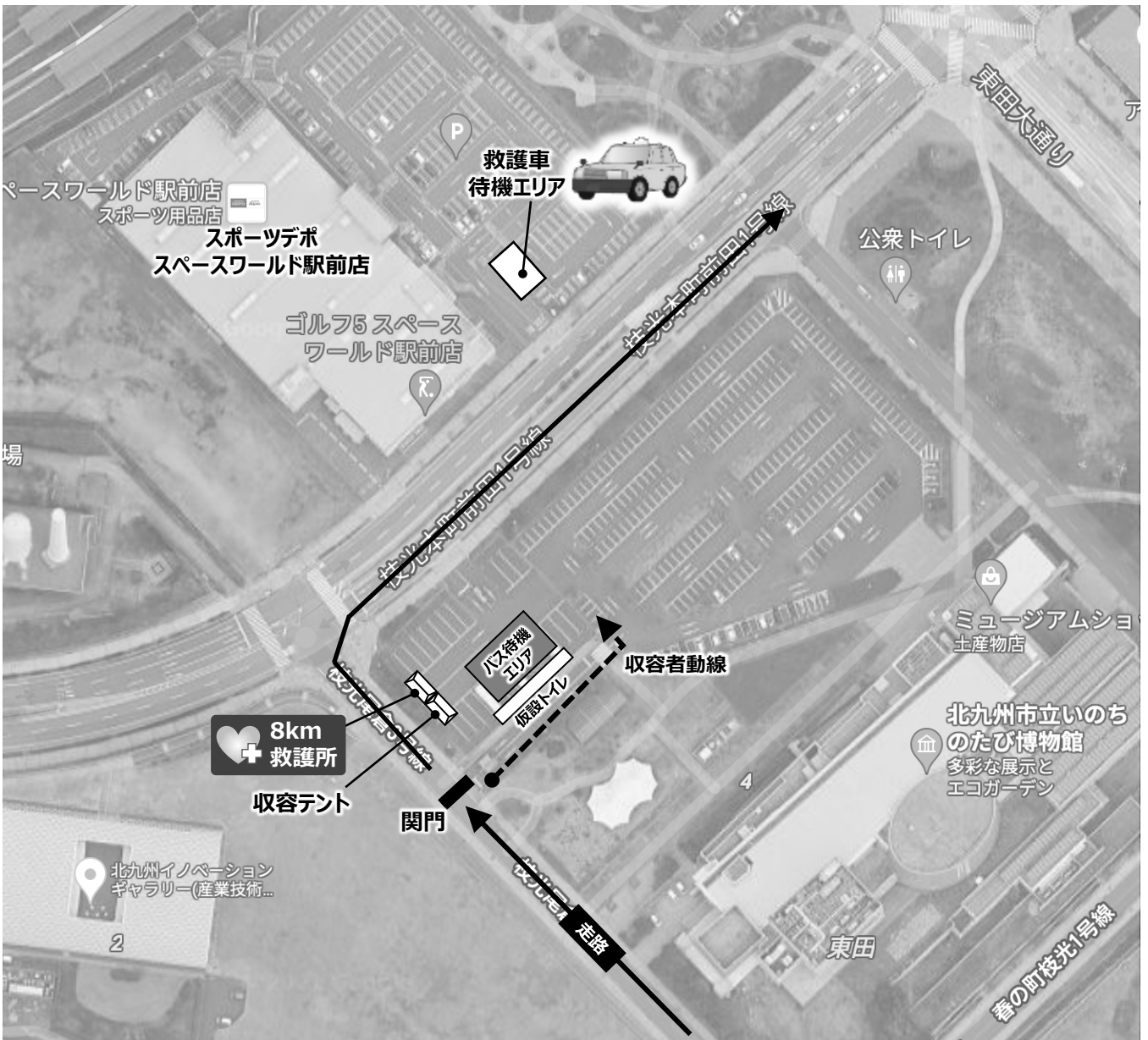


※3kmは救護所が無いので、収容の要請があった場合は、ドライバーの方はお一人でお一人でお対応いただく。

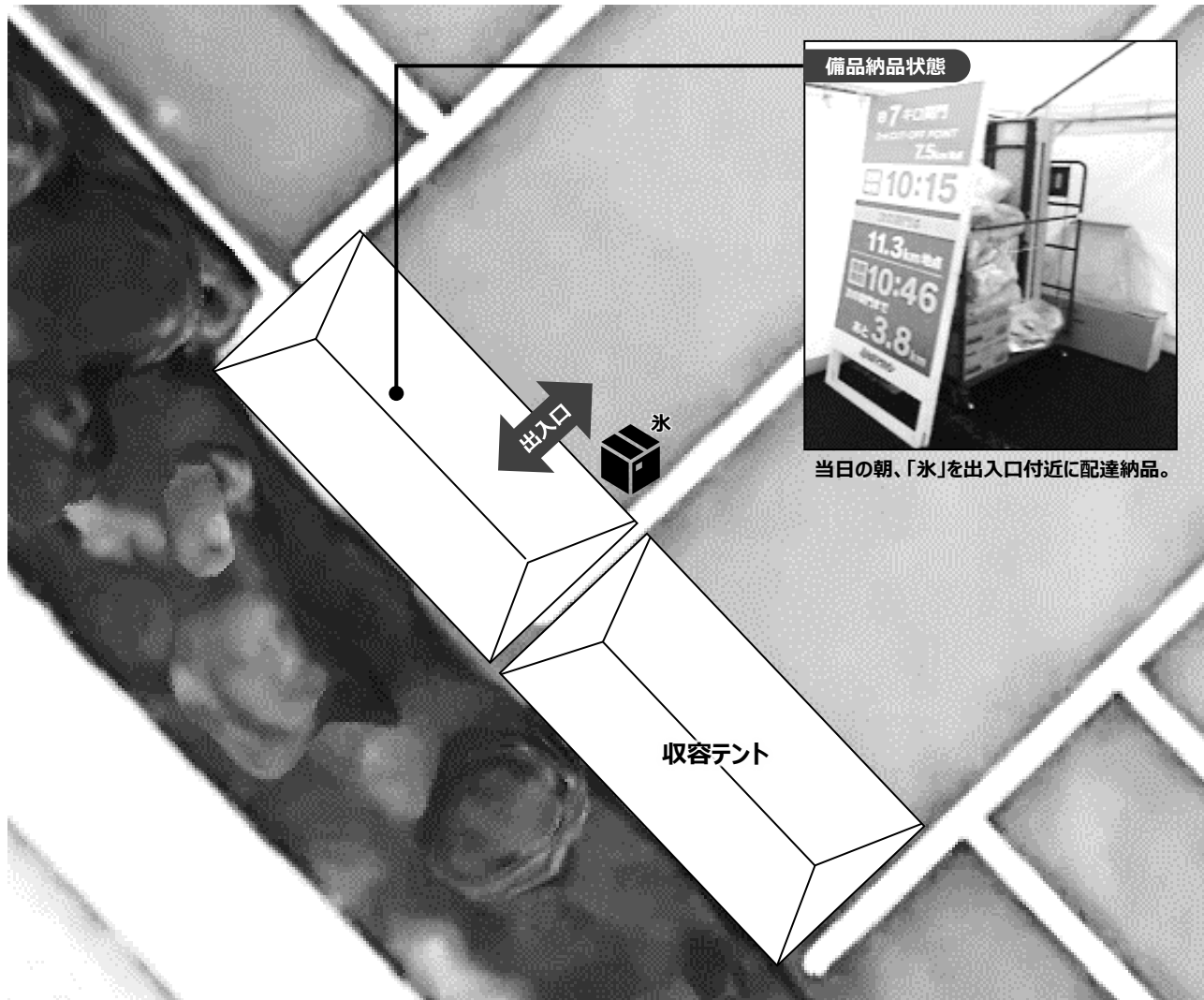
8km救護所

1 詳細①

担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	関門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
救護所主任(市職員)・ 救護所スタッフ (西展中展示場 スタッフ休憩所)	市職員 7:00	7:45	収容バス 4号車	8:15	8:45	9:24	10:16	10:45	11:10	輸送バス 12号車
	7:20									
AED隊 ※消防職員含む (西展本館フィニッシュ救護所)	6:50	7:45	収容バス 4号車	8:15	8:45		—		11:10	輸送バス 12号車



2 詳細②



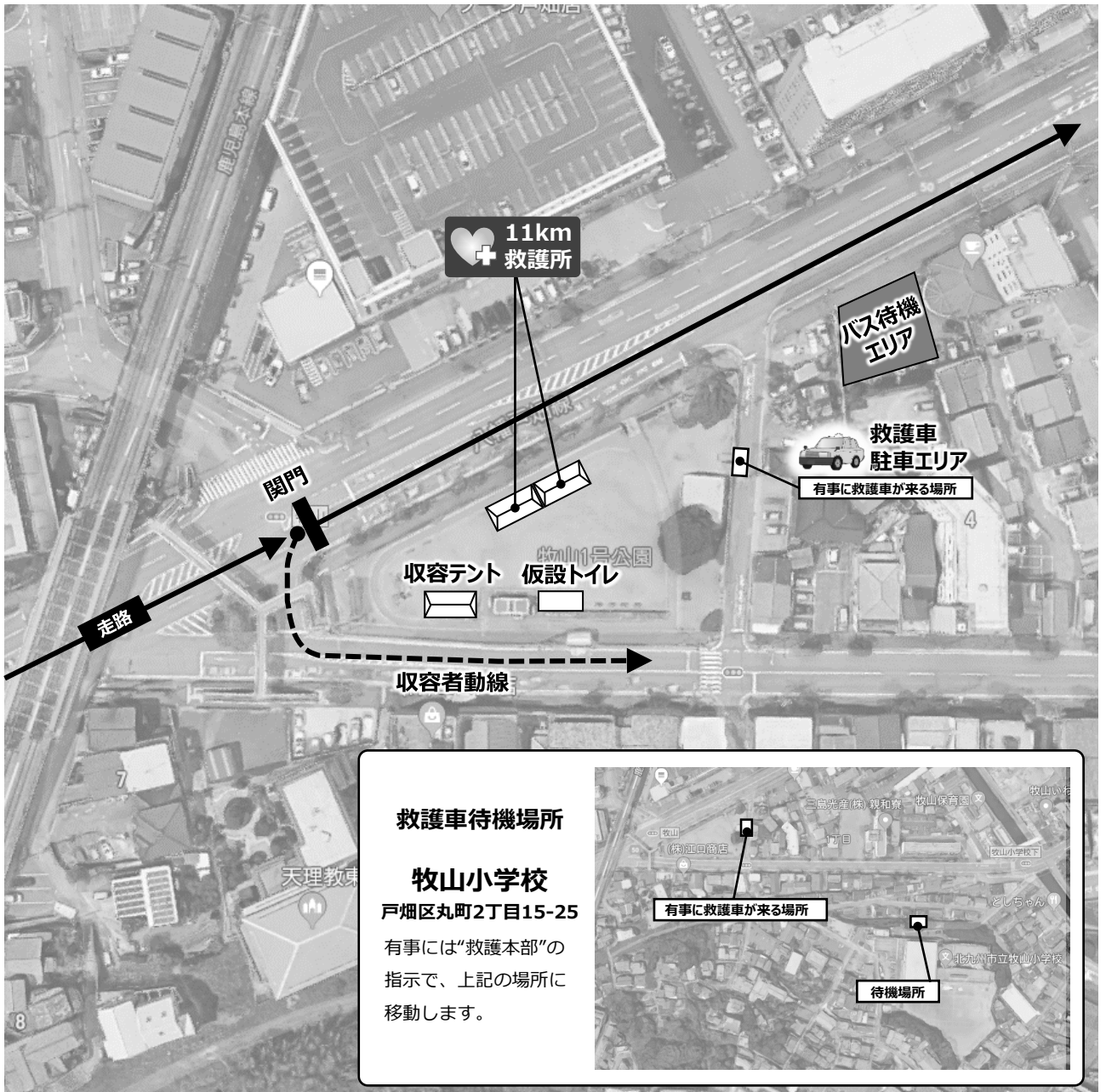
当日の朝、「氷」を出入口付近に配達納品。

主な設営物	●長テーブル(2本) ●椅子(10脚) ●簡易ベッド(1台) ●メディカルシート(1枚) ●担架(1台) ●車イス(1台) ●折りたたみ式パーテーション・キャスター付き(2台)
一般備品	●ストーブ ●灯油 ●鍋 ●やかん ●カセットコンロ(ボンベ付き) ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×10本) ●経口補水液(500ml) ●氷 ●クーラーボックス ●消火器 ●置き時計 ●AED ●転配用段ボール
外傷用備品	●綿棒 ●消毒スプレー ●カットパン(大・中) ●ホワイトテープ(38、50mm) ●アンダーラップ ●アイシング用フィルム ●ピンセット ●とげ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●ソフトシーネ(中) ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウェルパス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	●アルミクシート ●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ ●ブドウ糖 ●駆血帯 ●S字フック
その他備品	●筆記用具 ●バインダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●はさみ ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●キッチンペーパー ●嘔吐用ケアバッグ ●ナプキン ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●不織布マスク
衣装	●Tシャツ(参加賞余り) ●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ピプス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任)
書類	●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
感染疑い者用備品	●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●パルスオキシメーター(閉所時にフィニッシュ救護所に返却) ●アンビュー

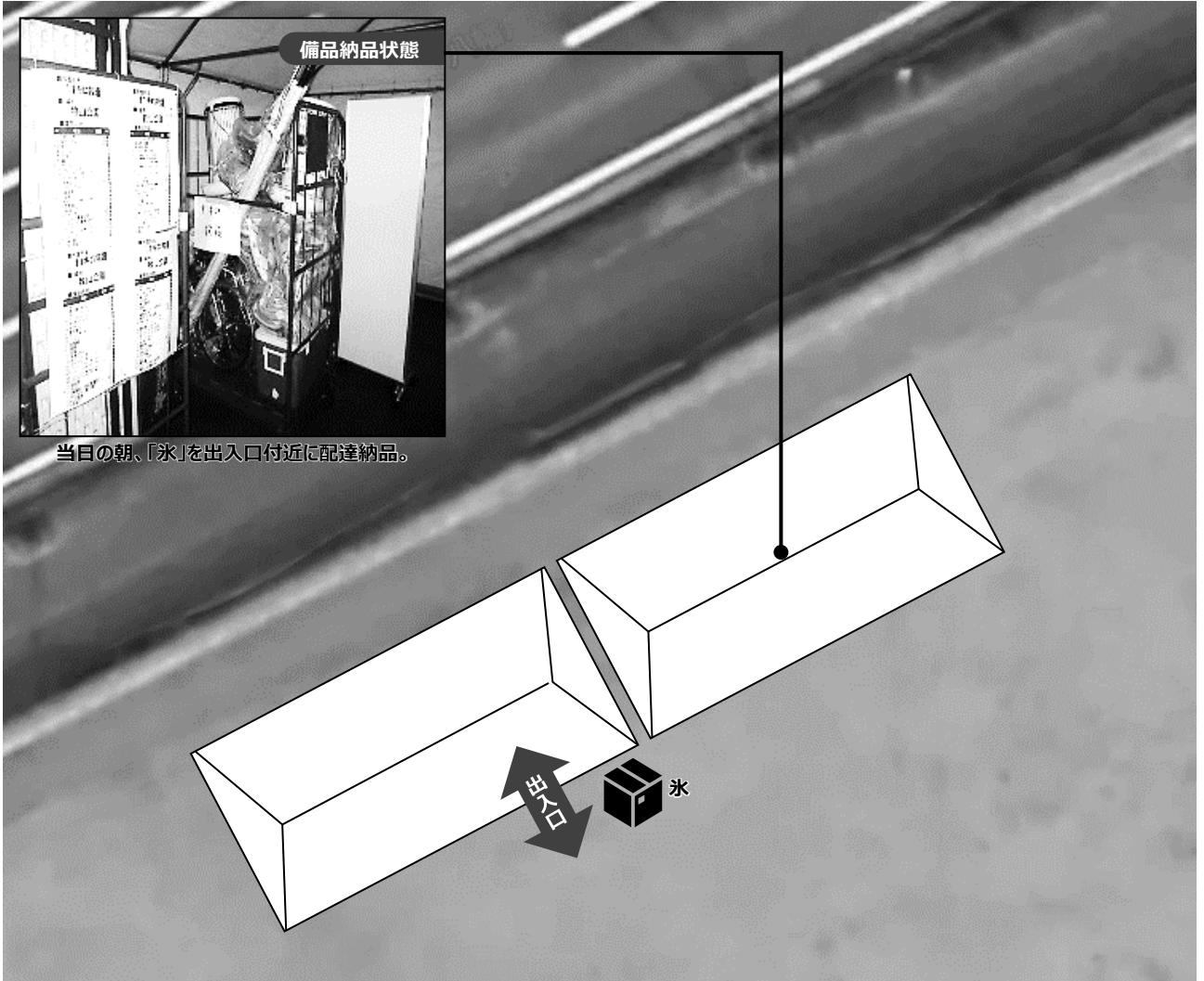
11km救護所

1 詳細①

担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	閉門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
救護所主任（市職員） 救護所スタッフ （西展中展示場 スタッフ休憩所）	市職員 7:00	7:45	収容バス 7号車	8:15	9:00	9:36	10:47	11:10	11:20	輸送バス 12号車
	7:20									
AED隊 ※消防職員含む （西展本館フィニッシュ救護所）	6:50	7:45	収容バス 7号車	8:15	-				11:20	輸送バス 12号車



2 詳細②



主な設営物	<ul style="list-style-type: none"> ●長テーブル(4本) ●椅子(22脚) ●簡易ベッド(1台) ●メディカルシート(1枚) ●担架(1台) ●車イス(2台) ●折りたたみ式パーテーション・キャスター付き(2台)
一般備品	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブ ●灯油 ●鍋 ●やかん ●カセットコンロ(ボンベ付き) ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×10本) ●経口補水液(500ml) ●氷 ●クーラーボックス ●消火器 ●置き時計 ●AED ●転配用段ボール
外傷用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●綿棒 ●消毒スプレー ●カットバン(大・中) ●ホワイトテープ(38、50mm) ●アンダーラップ ●アイシング用フィルム ●ピンセット ●とげ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●ソフトシーネ(中) ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウエルパス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●アルミックシート ●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ ●ブドウ糖 ●駆血帯 ●S字フック
その他備品	<ul style="list-style-type: none"> ●筆記用具 ●バインダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●キッチンペーパー ●嘔吐用ケアバッグ ●トイレトペーパー ●ナプキン ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●はさみ ●不織布マスク
衣装	<ul style="list-style-type: none"> ●Tシャツ(参加賞余り) ●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ビブス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任)
書類	<ul style="list-style-type: none"> ●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
感染疑い者用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●パルスオキシメーター(閉所時にフィニッシュ救護所に返却) ●アンビュー

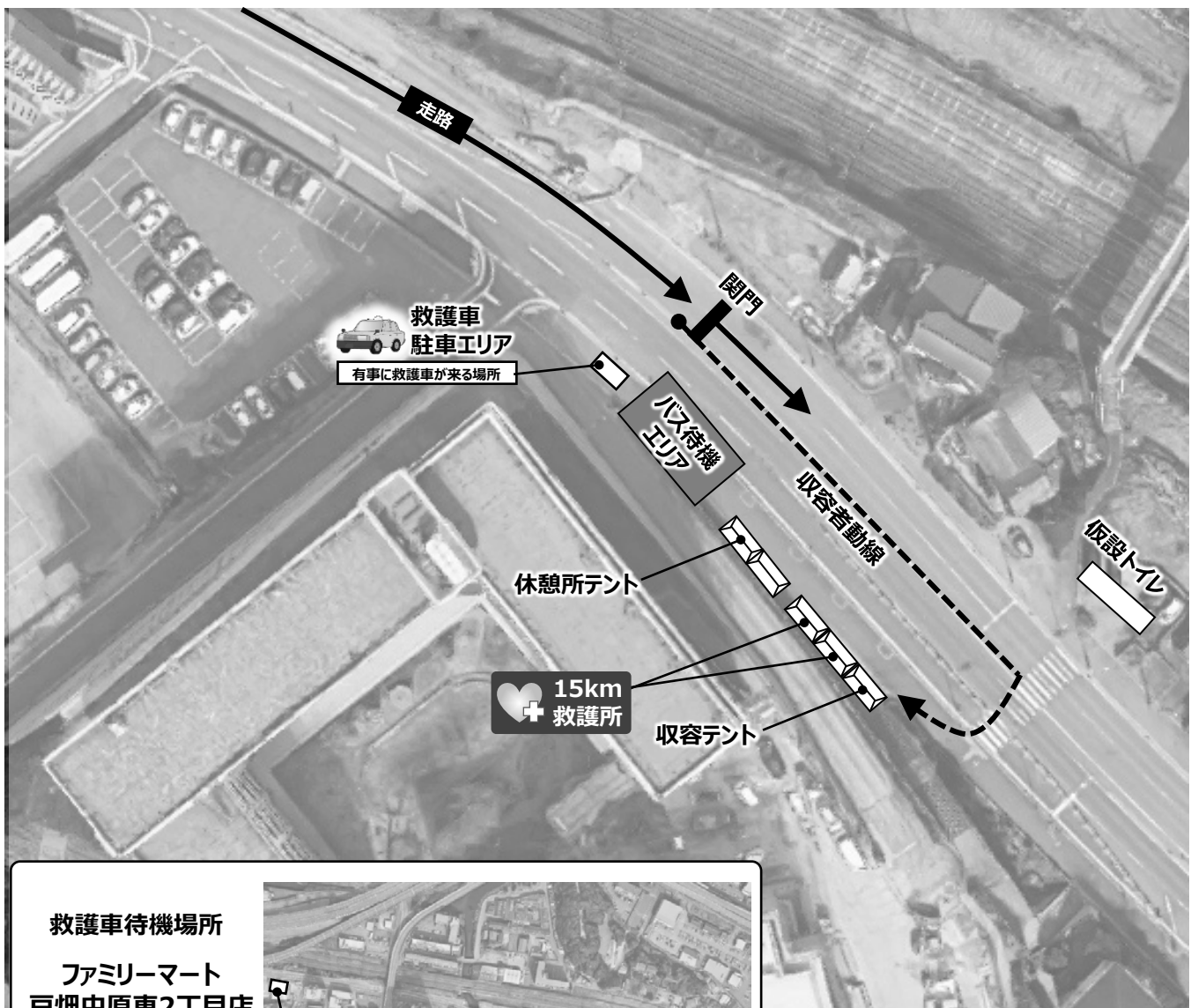
※トイレトペーパーについて

仮設トイレ用のトイレトペーパーのストック置場が無い場合、救護所内にストックする。救護所用の備品ではない。

15km救護所

1 詳細①

担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	関門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
救護所主任（市職員） ・救護所スタッフ (西展中展示場 スタッフ休憩所)	市職員 7:00	7:45	収容バス 10号車	8:05	9:20	9:49	11:19	11:55	12:10	収容バス 1号車
	7:20									
AED隊 ※消防職員含む (西展本館フィニッシュ救護所)	6:50	7:45	収容バス 10号車	8:05			—		12:10	収容バス 1号車



救護車待機場所

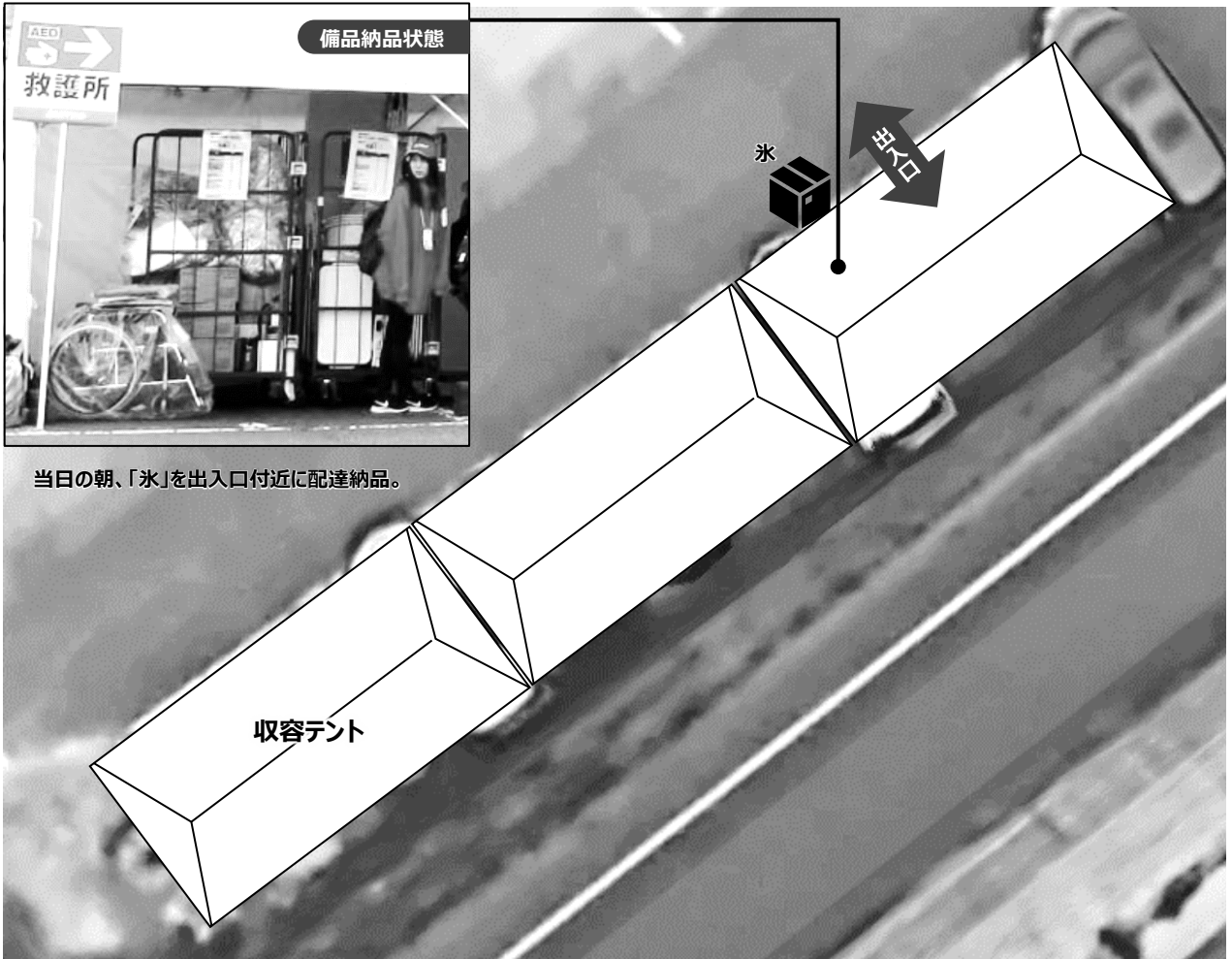
ファミリーマート
戸畑中原東2丁目店
戸畑区中原東2丁目10-45

待機場所

有事には“救護本部”の指示で、上記の場所に移動します。

有事に救護車が来る場所

2 詳細②



当日の朝、「氷」を出入口付近に配達納品。

主な設営物	●長テーブル(4本) ●椅子(22脚) ●簡易ベッド(1台) ●メディカルシート(1枚) ●担架(1台) ●車イス(2台) ●折りたたみ式パーテーション・キャスター付き(2台)
一般備品	●ストーブ ●灯油 ●鍋 ●やかん ●カセットコンロ(ボンベ付き) ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×20本) ●経口補水液(500ml) ●氷 ●クーラーボックス ●消火器 ●置き時計 ●AED ●転配用段ボール
外傷用備品	●綿棒 ●消毒スプレー ●カットパン(大・中) ●ホワイテテープ(38、50mm) ●アンダーラップ ●アイシング用フィルム ●ピンセット ●とけ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●ソフトシーネ(中) ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウェルパス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	●アルミクシート ●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ ●ブドウ糖 ●駆血帯 ●S字フック
その他備品	●筆記用具 ●バインダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●キッチンペーパー ●嘔吐用ケアバッグ ●トイレトペーパー ●ナプキン ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●はさみ ●不織布マスク
衣装	●Tシャツ(参加賞余り) ●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ピプス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任)
書類	●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
感染疑い者用備品	●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●パルスオキシメーター(閉所時にフィニッシュ救護所に返却) ●アンピュー

※トイレトペーパーについて

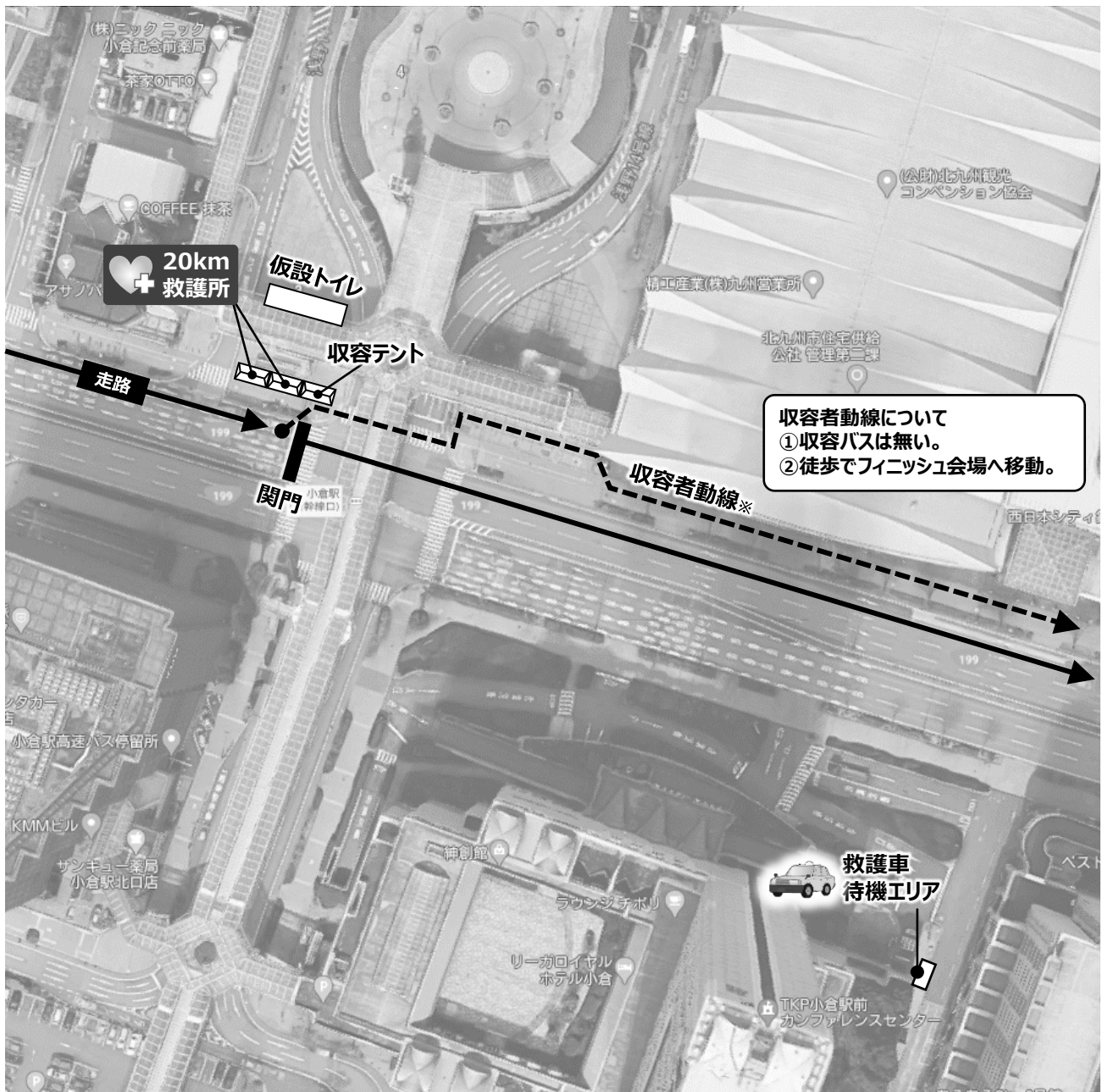
仮設トイレ用のトイレトペーパーのストック置場が無いため、救護所内にストックする。救護所用の備品ではない。

20km救護所

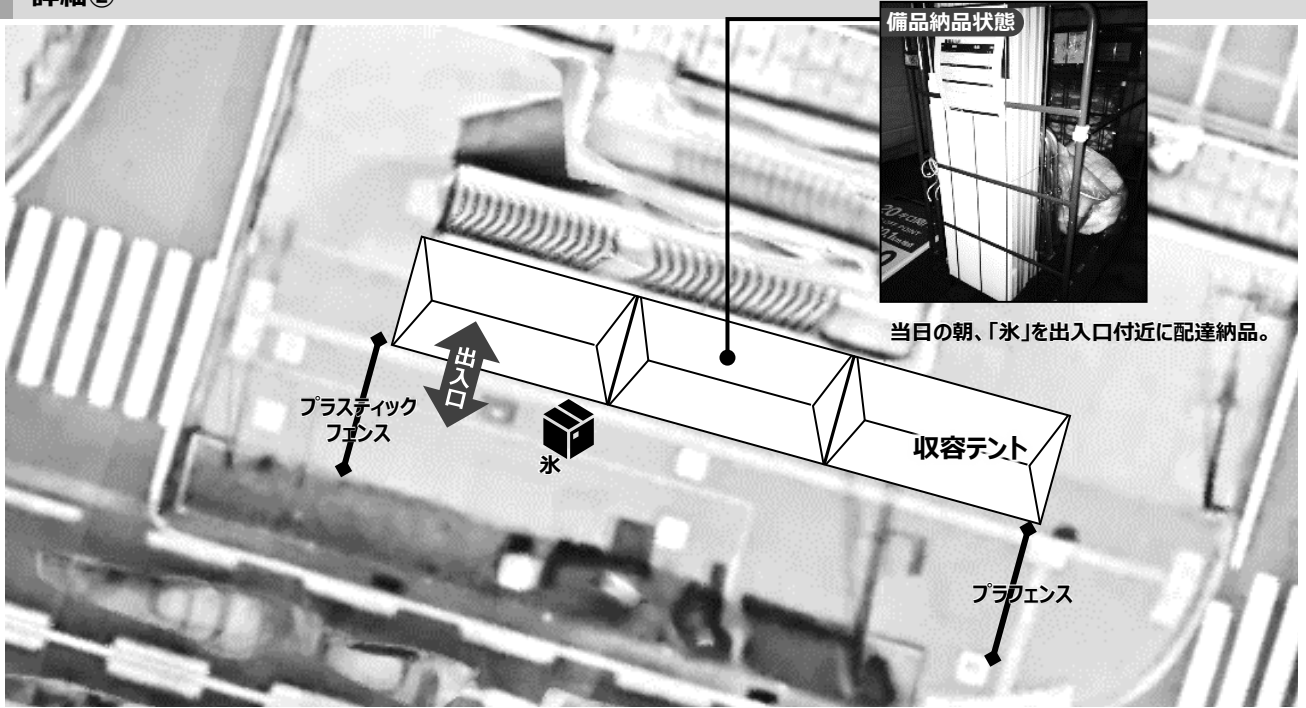
1 詳細①

担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	関門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
救護所主任(市職員) ・救護所スタッフ (西展中展示場 休憩スペース)	市職員 7:50	8:30	徒歩	-	9:30	10:05	12:00	12:30	12:30	徒歩
	8:10									
AED隊 ※消防職員含む (西展本館フィニッシュ救護所)	6:50	7:45	徒歩	-	-	-	-	-	12:30	徒歩

※ランナーがコースからすぐに救護所に入れるように、プラスチックフェンスで観客が救護所の前に入ってこないように仕切る。
 ※観客は救護所の後ろを通行する。



2 詳細②



主な設営物	●長テーブル(4本) ●椅子(22脚) ●簡易ベッド(1台) ●ヨガマット(1個) ●メディカルシート(2枚) ●担架(1台) ●車イス(2台) ●折りたたみ式パーテーション・キャスター付き(2台)
一般備品	●ストーブ ●灯油 ●鍋 ●やかん ●カセットコンロ(ボンベ付き) ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×20本) ●経口補水液(500ml) ●氷 ●クーラーボックス ●消火器 ●置き時計 ●AED ●転配用段ボール ●イレクターフェンス
外傷用備品	●綿棒 ●消毒スプレー ●カットパン(大・中) ●ホワイトテープ(38、50mm) ●アンダーラップ ●アイシング用フィルム ●ピンセット ●とげ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●ソフトシーネ(中) ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウェルバス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	●アルミクシシート ●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ ●ブドウ糖 ●駆血帯 ●S字フック
その他備品	●筆記用具 ●バインダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●キッチンペーパー ●嘔吐用ケアバッグ ●ナプキン ●はさみ ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●不織布マスク
衣装	●Tシャツ(参加賞余り) ●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ピプス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任)
書類	●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
感染疑い者用備品	●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●パルスオキシメーター(閉所時にフィニッシュ救護所に返却) ●アンビュー

3 閉所後の車イス移動について

20km救護所に配置してある「車イス(2台)」を、同救護所の閉所後にフィニッシュ会場内「男子更衣室入口」まで移動させてください。

- ① 運搬ルートは右記の通りです。
- ② ルート上の一部は、リタイヤ者、完走者の走路と重なるため、車イスと接触しないようご注意ください。
- ③ ルート上には、「ランナー入口」があります。必ず、スタッフジャンパーを着用いただき、スタッフパスが見えるようにしてください。
- ④ 「男子更衣室入口」に到着後、現地スタッフの方に『20km救護所より運んできました!! 使ってください!!』とお伝えください。

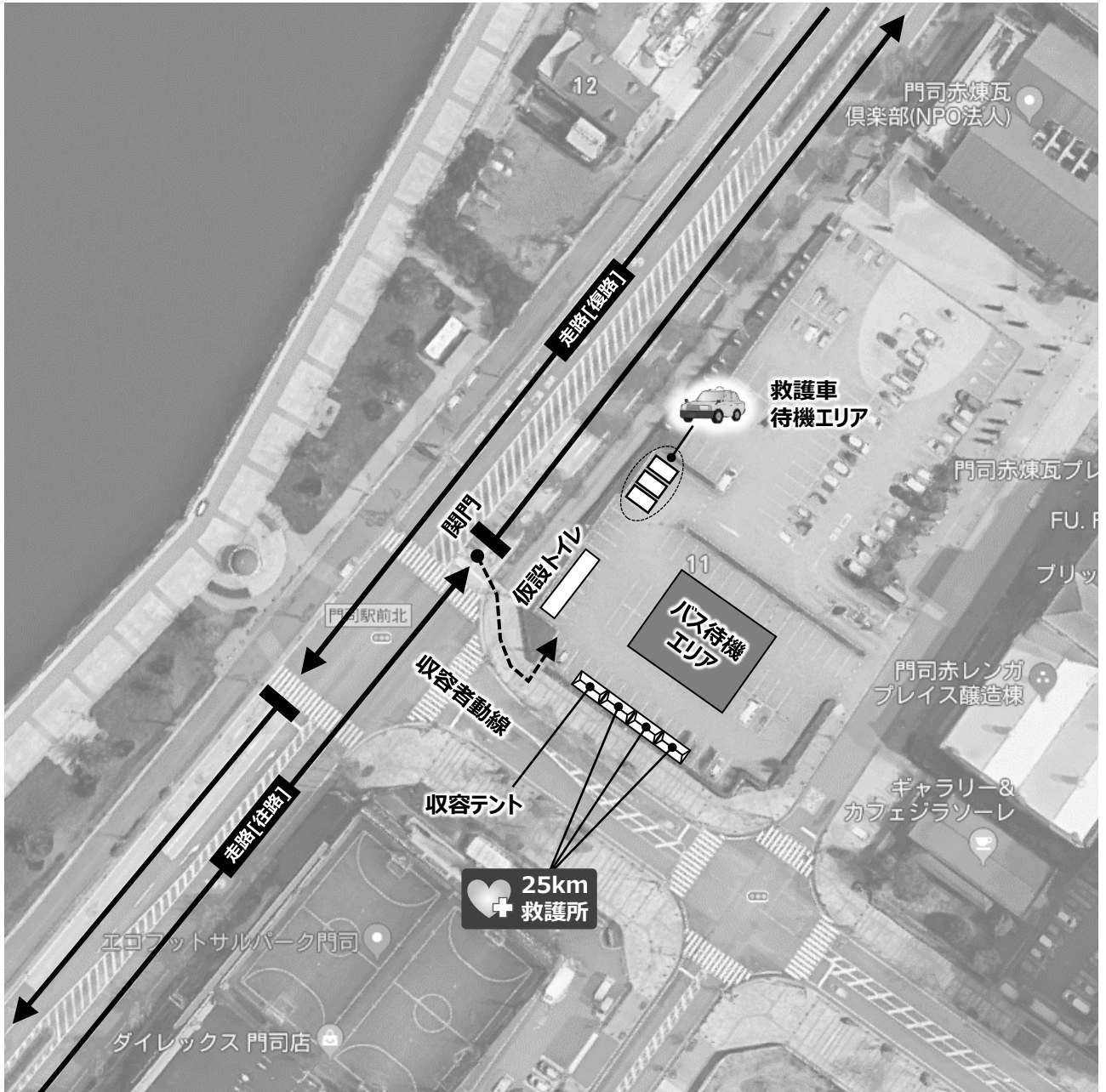
引き渡し完了でき次第、業務は終了です。
車イスは大会終了まで「男子更衣室入口」周辺にそのまま置いてください。



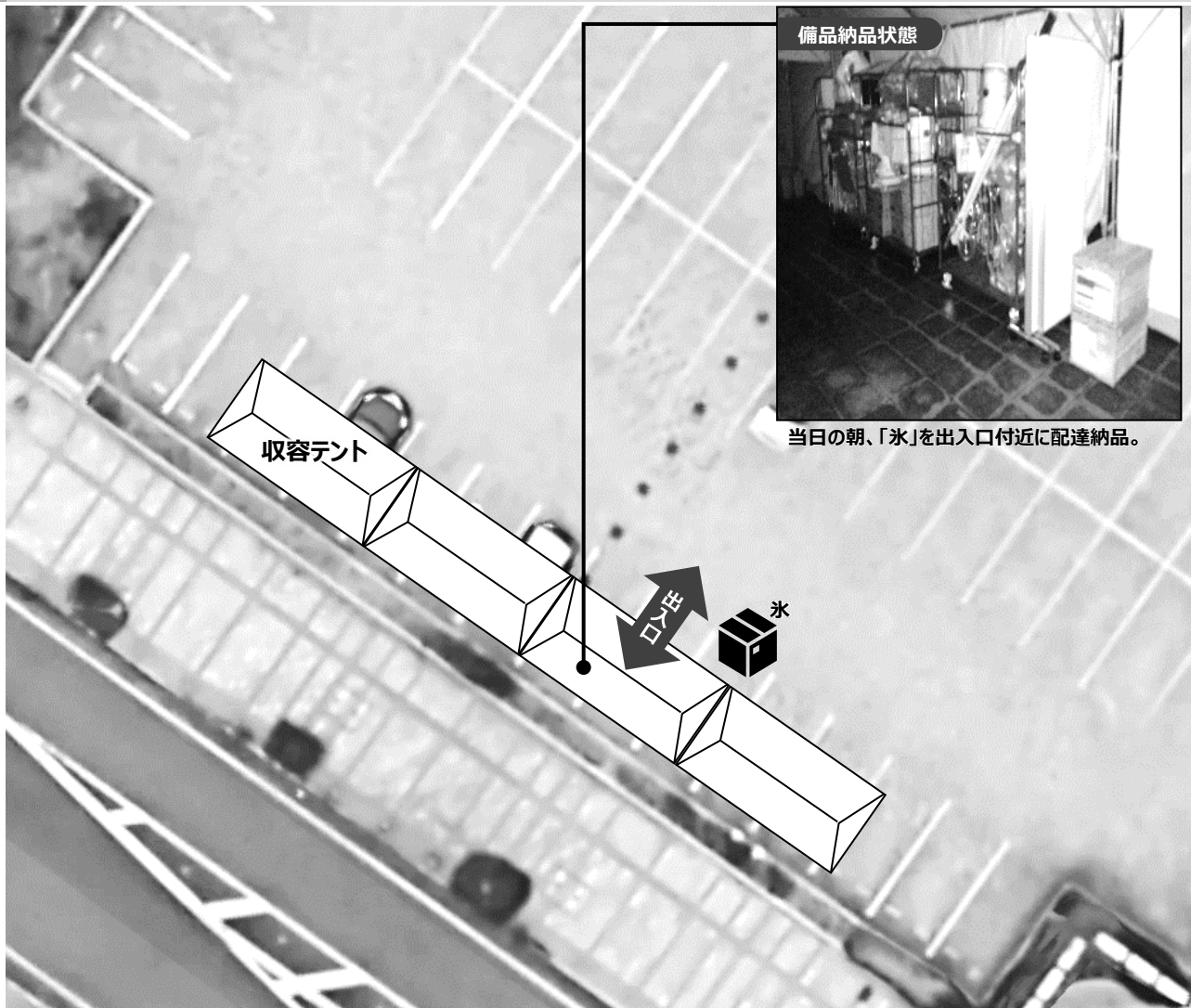
25km救護所

1 詳細①

担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	閉門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
救護所主任(市職員) ・救護所スタッフ (西展中展示場 スタッフ休憩所)	市職員 7:50	8:30	収容バス 16号車	9:00	9:40	10:22	12:43	13:10	15:00	収容バス 4号車
	8:10									
AED隊 ※消防職員含む (西展本館フィニッシュ救護所)	6:50	7:45	収容バス 15号車	8:05			—		15:00	収容バス 4号車



2 詳細②



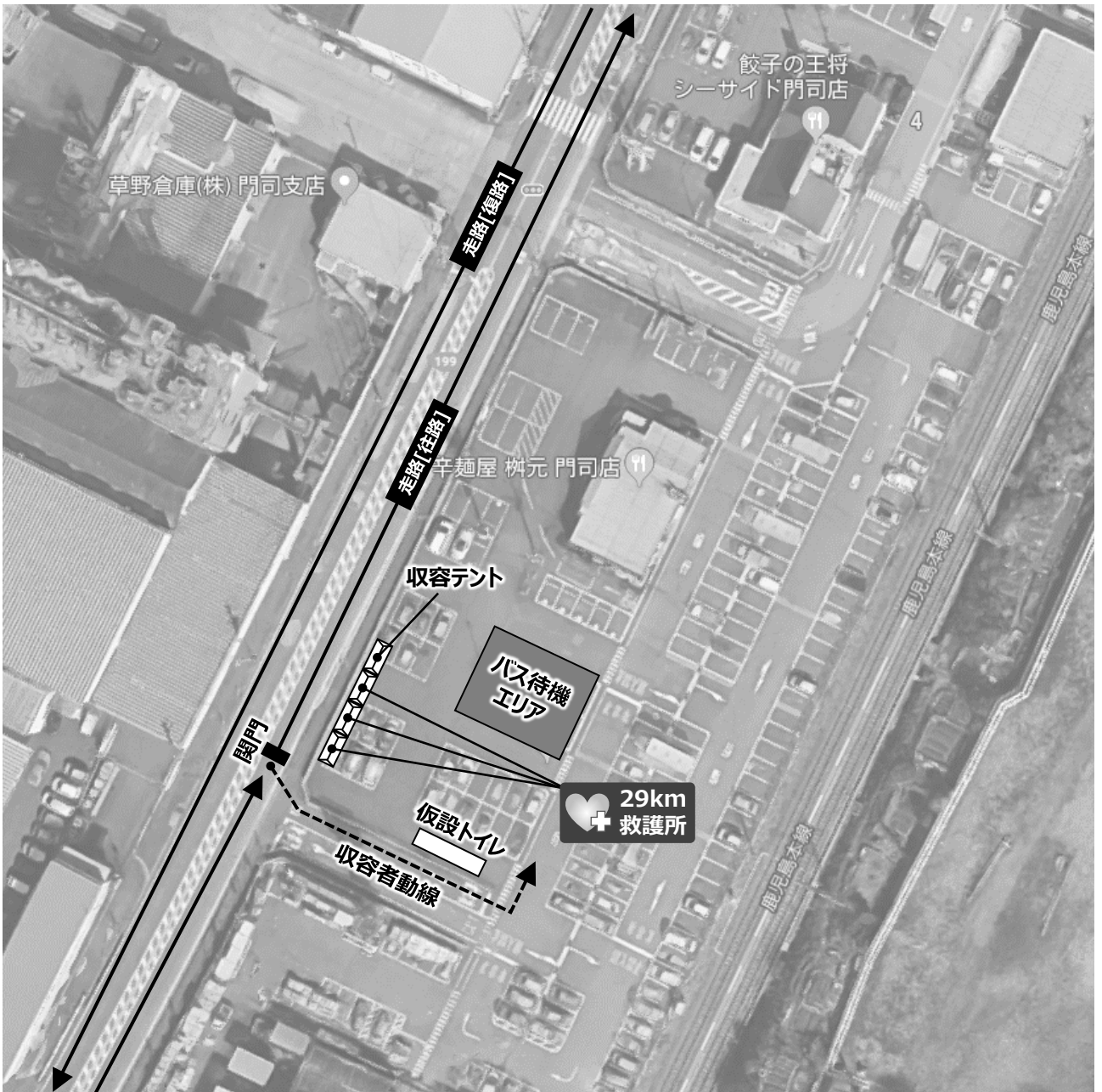
主な設営物	<ul style="list-style-type: none"> ●長テーブル(6本) ●椅子(26脚) ●簡易ベッド(4台) ●ヨガマット(1個) ●メディカルシート(2枚) ●担架(1台) ●車イス(2台) ●折りたたみ式パーテーション・キャスター付き(2台)
一般備品	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブ ●灯油 ●鍋 ●やかん ●カセットコンロ(ボンベ付き) ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×20本) ●経口補水液(500ml) ●氷 ●クーラーボックス ●消火器 ●置き時計 ●AED ●転配用段ボール
外傷用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●綿棒 ●消毒スプレー ●カットパン(大・中) ●ホワイテテープ(38、50mm) ●アンダーラップ ●アイシング用フィルム ●ピンセット ●とげ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●ソフトシーネ(中) ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウエルパス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●アルミックシート ●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ ●ブドウ糖 ●駆血帯 ●S字フック
その他備品	<ul style="list-style-type: none"> ●筆記用具 ●バインダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●ナプキン ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●キッチンペーパー ●嘔吐用ケアバッグ ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●はさみ ●不織布マスク
衣装	<ul style="list-style-type: none"> ●Tシャツ(参加賞余り) ●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ピブス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任)
書類	<ul style="list-style-type: none"> ●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
感染疑い者用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●パルスオキシメーター(閉所時にフィニッシュ救護所に返却) ●アンビュー

29km救護所

1 詳細①

担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	関門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
救護所主任(市職員) ・救護所スタッフ (西展中展示場 スタッフ休憩所)	市職員 7:50	8:30	収容バス 19号車	8:55	9:50	10:33	13:10	13:40	15:00	収容バス 11号車
	8:10									
AED隊 ※消防職員含む (西展本館フィニッシュ救護所)	6:50	7:45	収容バス 20号車	8:10	-				15:00	収容バス 11号車

※29km救護所には特設救急隊(消防)も待機しています。



2 詳細②

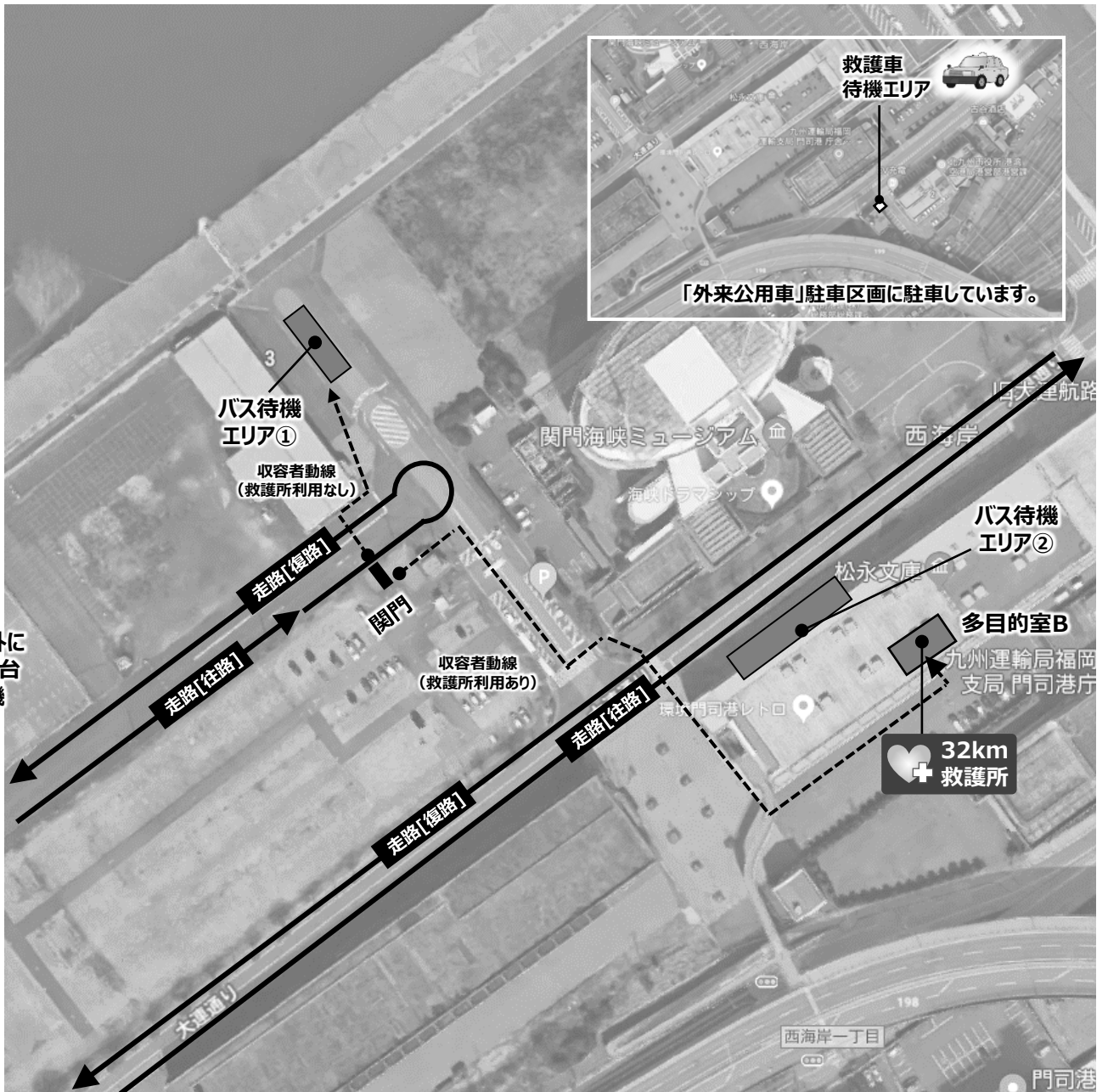


主な設営物	<ul style="list-style-type: none"> ●長テーブル(6本) ●椅子(30脚) ●簡易ベッド(4台) ●ヨガマット(1個) ●メディカルシート(2枚) ●担架(1台) ●車イス(3台) ●折りたたみ式パーテーション・キャスター付き(2台)
一般備品	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブ ●灯油 ●鍋 ●やかん ●カセットコンロ(ボンベ付き) ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×20本) ●経口補水液(500ml) ●氷 ●クーラーボックス ●消火器 ●置き時計 ●AED ●転配用段ボール
外傷用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●綿棒 ●消毒スプレー ●カットパン(大・中) ●ホワイテテープ(38、50mm) ●アンダーラップ ●アイシング用フィルム ●ピンセット ●とげ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●ソフトシーネ(中) ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウェルパス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●アルミックシート ●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ ●ブドウ糖 ●駆血帯 ●S字フック
その他備品	<ul style="list-style-type: none"> ●筆記用具 ●バインダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●ナプキン ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●キッチンペーパー ●嘔吐用ケアバッグ ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●はさみ ●不織布マスク
衣装	<ul style="list-style-type: none"> ●Tシャツ(参加賞余り) ●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ピンス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任)
書類	<ul style="list-style-type: none"> ●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
感染疑い者用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●バルスオキシメーター(閉所時にフィニッシュ救護所に返却) ●アンビュー

32km救護所

1 詳細①

担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	関門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
救護所主任（市職員） ・救護所スタッフ (西展中展示場 スタッフ休憩所)	市職員 7:50	8:30	収容バス 23号車	9:00	10:00	10:44	13:36	14:15	14:50	収容バス 6号車 + 1号車
	8:10									
AED隊 ※消防職員含む (西展本館フィニッシュ救護所)	6:50	7:45	収容バス 24号車	8:15		-			14:50	収容バス 6号車 + 1号車



2 詳細②

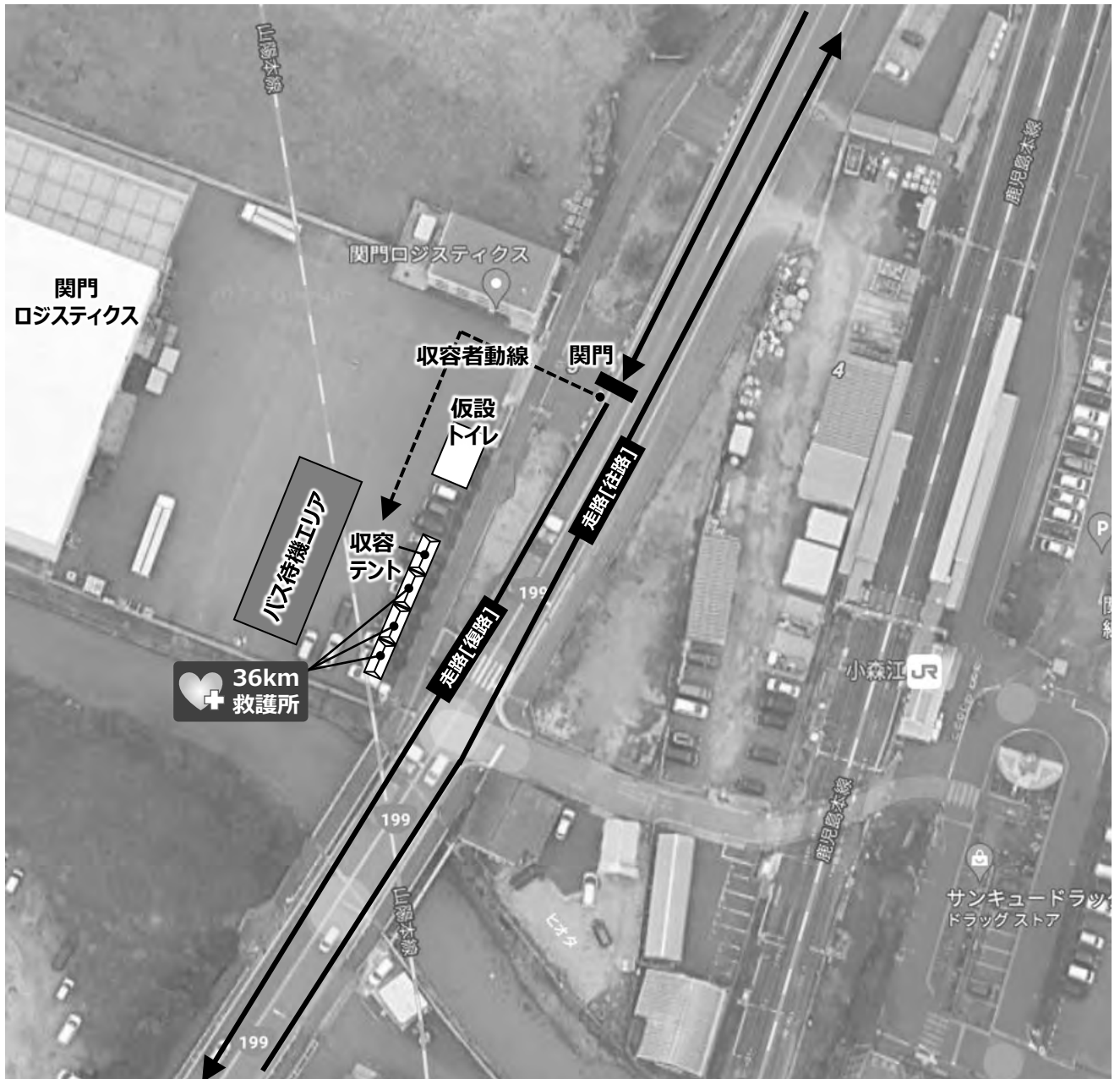


主な設営物	●長テーブル(6本) ●椅子(30脚) ●簡易ベッド(5台) ●ヨガマット(1個) ●メディカルシート(2枚) ●担架(1台) ●車イス(4台) ●折りたたみ式パーテーション・キャスター付き(2台)
一般備品	●鍋 ●やかん ●電気ケトル ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×10本) ●経口補水液(500ml) ●氷 ●クーラーボックス ●消火器 ●置き時計 ●AED ●転配用段ボール ●延長コード(3m)
外傷用備品	●綿棒 ●消毒スプレー ●カットパン(大・中) ●ホワイトテープ(38、50mm) ●アンダーラップ ●アイシング用フィルム ●ピンセット ●とげ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●ソフトシーネ(中) ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウェルバス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	●アルミックシート ●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ ●酸素缶 ●ブドウ糖 ●駆血帯 ●S字フック
その他備品	●筆記用具 ●バインダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●ナプキン ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●キッチンペーパー ●嘔吐用ケアバッグ ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●はさみ ●不織布マスク
衣装	●Tシャツ(参加賞余り) ●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ピプス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任)
書類	●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
感染疑い者用備品	●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●バルスオキシメーター(閉所時にフィニッシュ救護所に返却) ●アンビュー

36km救護所

1 詳細①

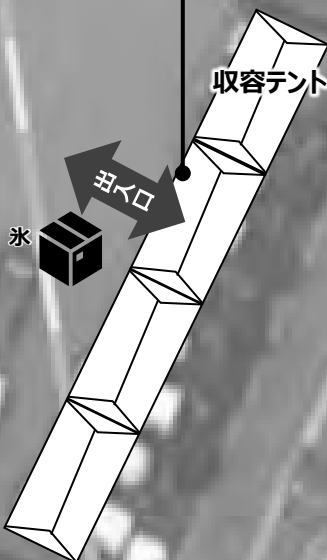
担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	関門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
救護所主任（市職員） ・救護所スタッフ （西展中展示場 スタッフ休憩所）	市職員 7:50	8:30	収容バス 16号車	9:00	9:40	10:56	14:07	14:50	15:10	収容バス 7号車
	8:10									
AED隊 ※消防職員含む （西展本館フィニッシュ救護所）	6:50	7:45	収容バス 15号車	8:05		—			15:10	収容バス 7号車



2 詳細②



当日の朝、「氷」を出入口付近に配達納品。

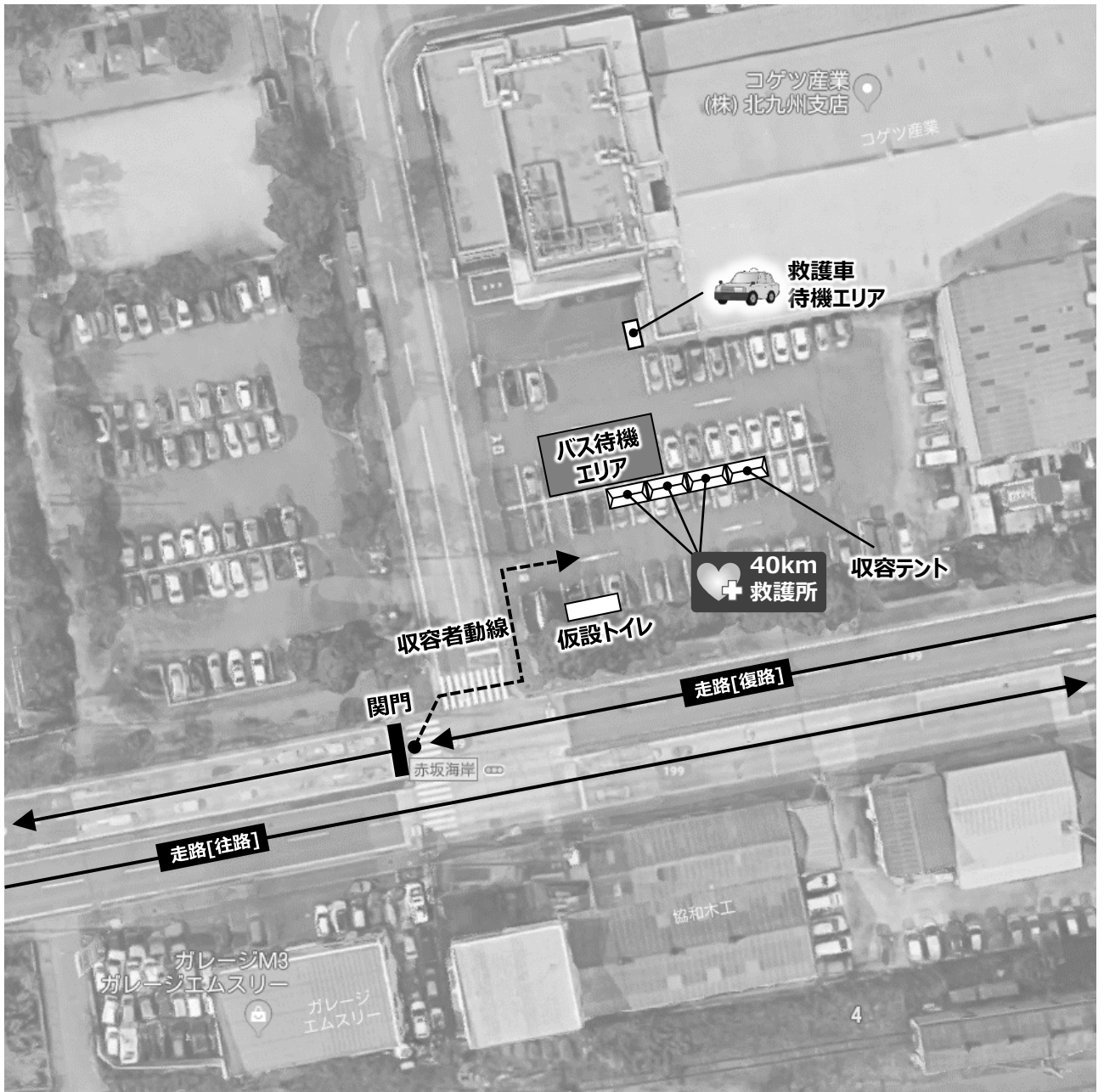


主な設営物	●長テーブル(6本) ●椅子(30脚) ●簡易ベッド(4台) ●ヨガマット(1個) ●メディカルシート(2枚) ●担架(1台) ●車イス(4台) ●折りたたみ式パーテーション・キャスター付き(2台)
一般備品	●ストーブ ●灯油 ●鍋 ●やかん ●カセットコンロ(ボンベ付き) ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×20本) ●経口補水液(500ml) ●氷 ●クーラーボックス ●消火器 ●置き時計 ●AED ●転配用段ボール
外傷用備品	●綿棒 ●消毒スプレー ●カットバン(大・中) ●ホワイトテープ(38、50mm) ●アンダーラップ ●アイシング用フィルム ●ピンセット ●とげ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●ソフトシーネ(中) ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウェルパス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	●アルミシート ●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ ●酸素缶 ●ブドウ糖 ●駆血帯 ●S字フック
その他備品	●筆記用具 ●バインダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●ナブキン ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●キッチンペーパー ●嘔吐用ケアバッグ ●はさみ ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●不織布マスク
衣装	●Tシャツ(参加賞余り) ●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ビブス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任)
書類	●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
感染疑い者用備品	●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●パルスオキシメーター(閉所時にフィニッシュ救護所に返却) ●アンビュー

40km救護所

1 詳細①

担当 (集合場所)	集合時刻	出発時刻	西展から 移動方法	到着時刻	開所時刻	先頭ランナー 通過時刻 <予想>	関門 封鎖時刻	閉所時刻	出発時刻	閉所後 移動方法
救護所主任(市職員) ・救護所スタッフ (西展中展示場 スタッフ休憩所)	市職員 7:50	8:30	収容バス 29号車	8:45	9:45	11:09	14:40	15:00	15:20	収容バス 12号車
	8:10									
AED隊 ※消防職員含む (西展本館フィニッシュ救護所)	6:50	7:45	収容バス 28号車	8:00	-				15:20	収容バス 12号車



2 詳細②



当日の朝、「氷」を出入口付近に配達納品。

主な設営物	<ul style="list-style-type: none"> ●長テーブル(6本) ●椅子(30脚) ●簡易ベッド(4台) ●ヨガマット(1個) ●メディカルシート(2枚) ●担架(1台) ●車イス(2台) ●折りたたみ式パーテーション・キャスター付き(2台)
一般備品	<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブ ●灯油 ●鍋 ●やかん ●カセットコンロ(ボンベ付き) ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×20本) ●経口補水液(500ml) ●氷 ●クーラーボックス ●消火器 ●置き時計 ●AED ●転配用段ボール
外傷用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●綿棒 ●消毒スプレー ●カットパン(大・中) ●ホワイトテープ(38、50mm) ●アンダーラップ ●アイシング用フィルム ●ピンセット ●とげ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●ソフトシーネ(中) ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウェルパス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●アルミックシート ●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ ●酸素缶 ●ブドウ糖 ●駆血帯 ●S字フック
その他備品	<ul style="list-style-type: none"> ●筆記用具 ●バインダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●ナプキン ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●キッチンペーパー ●嘔吐用ケアバッグ ●はさみ ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●不織布マスク
衣装	<ul style="list-style-type: none"> ●Tシャツ(参加賞余り) ●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ビブス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任)
書類	<ul style="list-style-type: none"> ●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
感染疑い者用備品	<ul style="list-style-type: none"> ●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●パルスオキシメーター(閉所時にフィニッシュ救護所に返却) ●アンビュー

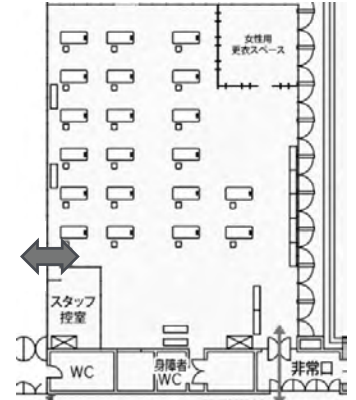
フィニッシュ救護所

1 集合・解散について

※『スタート救護所』以外の各救護所への現地集合は認めていません

担当 (集合場所)	集合時刻		集合場所	開所時刻	閉所時刻
	救護所主任	その他			
救護所主任(市職員)、 医師、看護師、理学療法士、 ボランティア	7:50	8:10	西日本総合展示場 本館 スタッフ休憩所	9:00	16:15

2 設営について



右記レイアウトを見本に自由に設営して構いません。机やベッド、ストーブなど状況に合わせて、使い易いように配置する。「救護所主任」は、医師や看護師に相談しながら、救護所スタッフ全員で設営作業を進める。

主な設営物	●長テーブル(10本) ●椅子(40脚) ●簡易ベッド(10台) ●メディカルシート(10枚) ●マッサージベッド(10台) ●担架(2台) ●ストレッチャー(1台) ●車イス(14台) ●折りたたみ式パーテーション：キャスター付き(6台)
一般備品	●ストーブ ●ストーブガード ●灯油 ●鍋 ●やかん ●カセットコンロ(ボンベ付き) ●保温ポット ●ペットボトル温め用 たらい ●バケツ(たらい) ●洗面器 ●感染性廃棄物入れ ●タオル ●毛布 ●水(2ℓペットボトル×20本) ●経口補水液(500ml) ●氷 ●クーラーボックス ●消火器 ●置き時計 ●ハンドマイク ●AED ●コンテナ
外傷用備品	●綿棒 ●消毒スプレー ●カットパン(大・中) ●ホワイトテープ(38、50mm) ●アンダーラップ ●アイシング用フィルム ●ピンセット ●とげ抜き ●爪切り ●サージカルテープ ●ソフトシーネ(中) ●三角巾 ●弾性包帯 ●ニトリル検査グローブ ●滅菌ガーゼ ●消毒用ウエルバス ●アルコール綿
救命・低体温用備品	●アルミクシート ●使い捨てカイロ ●血圧計 ●体温計(耳式と脇用) ●軟膏ヘラ ●酸素缶 ●ブドウ糖 ●駆血帯 ●S字フック
その他備品	●ホワイトボード&ペン ●筆記用具 ●バンダー ●紙コップ ●曲がるストロー ●ガムテープ ●ゴミ袋 ●ビニール袋 ●ティッシュペーパー ●除菌ウェットティッシュ ●キッチンペーパー ●嘔吐用ケアバッグ ●消毒液(次亜塩素酸ナトリウム) ●ナプキン ●はさみ ●不織布マスク
衣装	●Tシャツ(参加賞余り) ●ジャンパー(スタッフジャンパー余り) ●ピブス(医師、看護師、理学療法士、救護所主任、メディカルサポートランナー、AEDサポート隊)
書類	●診療録 ●入退室管理簿 ●備品残数調査票 ●看護師用報告書
感染疑い者用備品	●アイガード ●医療用ガウン ●医療用ゴム手袋 ●N95マスク ●パルスオキシメーター ●アンビュ

3 救護所主任(応援に入る救護所主任含む)の業務内容

フィニッシュ救護所は、コースの救護所主任の業務内容に加え、以下の業務がある。

応援に入る救護所主任も全員協力して運営にあたること。応援に入るスタッフは前の救護所で着用したピブスを使用すること。

- ①他救護所より来た医療スタッフの案内 …………… 医師、看護師、理学療法士をそれぞれの作業場所へ案内する。
- ②「携帯電話、帳票類(診療録等)」の回収 …………… 各救護所主任が、リーダーの携帯電話と帳票類(診療録等)・パルスオキシメーターを持ってくるので、「帳票類回収箱」に入れてもらう。
- ③休憩や軽食の案内 …………… 救護所内スタッフの他に、「特設救急隊(北側出入口に待機)」にも西日本総合展示場本館にある休憩所や軽食の案内をする。
- ④追加備品の受取 …………… コース前半の救護所で使われなかった備品(アルミクシート、血圧計、テープ類など)が届くので、「医師、看護師、理学療法士」に追加の備品を渡して使ってもらう。
パルスオキシメータ(サチュレーションモニタ)も使って良い。
(医師会から借り物なので、閉所時に数を確認のこと。)
- ⑤閉所時のゴミ捨て …………… 医療廃棄物以外のゴミは「ゴミステーション」へ運ぶ。
医療廃棄物は発熱者テントへ運ぶ。

4 その他、救護所スタッフの業務内容

- フィニッシュ救護所のトリアージは対応人数が多いため、リーダーの医師と看護師が行う。
- ボランティアは通常の役割に加え、救護所の入室したランナーの「ナンバーカードと入室時間」をホワイトボードに記入する。ランナーが退出したら、そのランナーの情報は消す。

▲ 緊急性がある場合限定 ～『フィニッシュ救護所』から直接『手荷物返却所』で手荷物を引き取る場合～
 フィニッシュ救護所を利用しているランナーに着替えが必要となった場合、該当者のナンバーカードを持って直接『手荷物返却係』に提示することで、手荷物を回収することができる。その場合、手荷物を回収されるナンバーカードを控えておくこと。

5 車イスの配置について



- フィニッシュ後、動けなくなったランナーを搬送するための車イスを配置。
- 一般ボランティアの方に、「車イス隊」の業務をお願いしています。
 具合の悪い人を見かけた場合は、車イスでフィニッシュ救護所に運ぶ。運んだ後は、「ふきふき石けん」で消毒・拭き取りをして、車イスを元の場所に戻す。
- 横になっている人（疲れて寝ていると思われる人も含む）がいたら、「大丈夫ですか？」と必ず声をかける。
 具合が悪い人、意識のない人を発見したときは、119へ通報・フィニッシュ救護所の医師を呼ぶ・救護本部へ連絡する、まわりの人に助けを求める、などを対応する。見過ごしたり、そのまま放置したりしない。
- 対応時は医療用ガウンを着用すること。

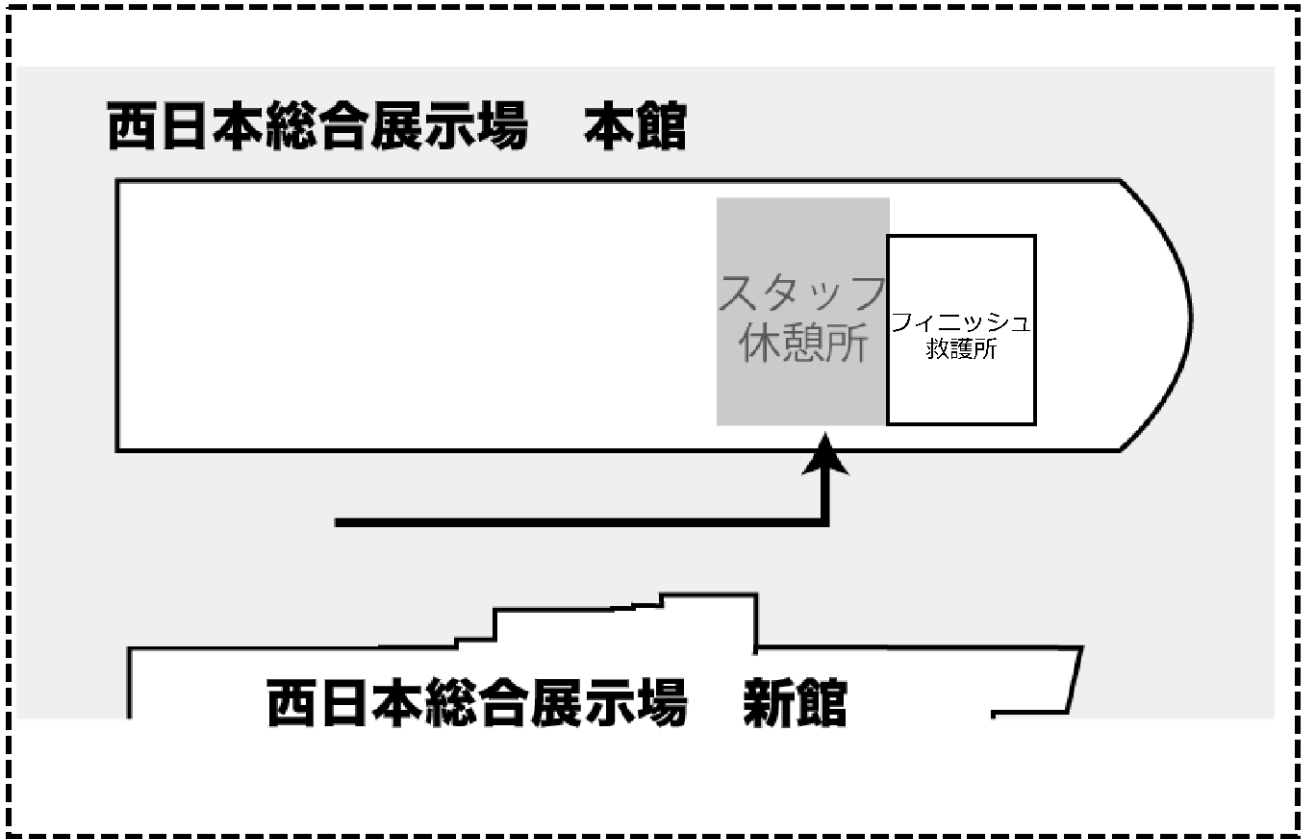
6 注意事項

- 車イスは搬送後、元の場所へ必ず戻す。（どこに配置しているものかわかるように、車イスには場所を示すプレートが付いています。）



ボランティア休憩所のご案内

休憩所は「西日本総合展示場 本館」をご使用ください。



※休憩時はボランティアウェアをお脱ぎください。

※休憩時、ランナー専用エリアを出入りする際は、ボランティアウェアを着用しスタッフパスを提示してください。

※新型コロナウイルス感染症防止対策のため、休憩や昼食の際は、周囲の人と距離をとり、会話はお控えください。

AED隊

1 業務全般について

- ①各救護所やコース上の1km置きに、AEDを装備した救急救命士等を1名ずつ配置し、心肺蘇生業務を第一に行う。
- ②AED隊は、「定点AED隊」「移動AED隊」「AEDサポート隊」の3種類に分けられる。
- ③移動AED隊は、「GPS機能付きスマートフォン」を所持し、自転車で救急事案発生地点に急行して救命処置を行う。
- ④軽微な傷害(筋けいれん等)の場合でも、救命業務に支障のない範囲で可能な限りサポートする。
- ⑤移動AED隊は、最後尾ランナー通過後、コース内を走行しながらフィニッシュ会場へ向かう。
- ⑥ランナーに触れる場合は、アイガードとビニール手袋を着用する。

2 AED隊の種類と業務内容について

① 定点AED隊

- 各救護所に待機し、「移動AED隊」への指示や連絡を行う。コース上の傷病者の情報を、救護所主任と共有する。
※3km定点AED隊は関門で待機。
- 関門閉鎖後は、「輸送バス」または「収容バス」に乗りし、移動中の体調急変者の対応にあたる。



定点AED隊④

AEDおよび心肺蘇生の実施。
3～5km地点ごとに小集団になる「移動AED隊」や、「定点AED隊」の統括を行う。



定点AED隊⑤

GPS機能付きスマートフォンを持ち、救護本部（AED隊本部）および移動AED隊との連絡・連携を行う。「移動AED隊」の小集団の動きを把握し、救急事案発生時適切な指示が出せるようにする。

AED
(1台)GPS機能付き
スマートフォン
(1台)

携帯品

- アルミクシート(1枚)
- ビニール袋(1枚)
- カイロ(1個)
- 不織布マスク(5枚)

- 三角巾(1袋)
- ビニール手袋(2セット)
- 経口補水液(1本)
- アイガード(1個)

- カットバン<大>(10枚)
- 除菌ウェットティッシュ(1袋)
- タオル(1枚)

② 移動AED隊

- 各救護所から1kmごとの所定の地点に移動し、④⑤2名1組でランナーの観察を行う。
- 3～5km地点ごとに小集団を組織し、緊急事案発生時は連携して業務にあたる。
- 最後尾ランナー通過後、「AEDサポート隊」から携帯品と着用ビブスを回収し、解散を行う。
- 最後尾ランナー通過後、コース内を走行しながらフィニッシュ救護所へ向かう。



移動AED隊④

自転車で移動しながら、ランナーを観察し、心肺停止者がいた場合、AED及び心肺蘇生を実施。



移動AED隊⑤

GPS機能付きスマートフォンを持ち、定点AED隊と連絡・連携を行う。緊急時は救護本部に連絡し、連携を行う。「AEDサポート隊」に指示を出し、迅速に対応可能な状態を作る。最後尾ランナー通過後、「定点AED隊⑤」に連絡し、AEDサポート隊の解散を行う。その際に「携帯品」と「着用ビブスの回収を行う。

AED
(1台)GPS機能付き
スマートフォン
(1台)

携帯品

- カイロ(1個)
- 三角巾(1袋)
- ビニール袋(1枚)
- 除菌ウェットティッシュ(1袋)
- 不織布マスク(5枚)

- カットバン<大>(10枚)
- アルミクシート(1枚)
- ビニール手袋(2セット)
- 経口補水液(1本)
- アイガード(1個)

- タオル(1枚)
- アンビユー(一部)

自転車
(2台)

③ AEDサポート隊

- 所定の地点に移動後、コース上のランナーの観察を行う。
- 事案発生時は「移動AED隊⑤」と連絡をとり、指示を仰ぐ。
軽症者の対応(対応可能な場合は対応後、「移動AED隊⑤」へ連絡)を行い、軽微な傷害(筋けいれん等)の場合でも、救命業務に支障のない範囲で可能な限りサポートする。
- 最後尾ランナー通過後、「移動AED隊⑤」に「携帯品」と「着用ビブス」を返却し現地解散する。

携帯品

- アルミクシート(1枚)
- アイガード(1個)

- カイロ(1個)
- 不織布マスク(5枚)

- 経口補水液(1本)

- ビニール手袋(1セット)

3 集合について

※『スタート救護所』以外の各救護所への現地集合は認めていません

- 集合対象 / 「定点AED隊」「移動AED隊」「AEDサポート隊」の全AED隊（消防職員も含む）
- 集合時間 / 6:50（定点AED隊は6:40）
- 集合場所 / フィニッシュ救護所（西日本総合展示場 本館東側）
- 集合後 / ①各キロ地点ごとのサインが設置してあるため、自身が担当するサインの周辺に集合する。
②“定点AED隊”は、集合時に配布された名簿を元にスタッフの点呼を行う。
③AED隊本部の重要事項等のミーティング後、「当日配布資料」「携帯品」と、一部のスタッフに「GPS付きスマートフォン」「AED」を受取る。
④“定点AED隊”は、各AED隊ごとに送迎バス乗車場へ誘導し、全員が揃ったことを確認の後、バスを出発させる。

▲ 8、11、15km救護所は、救護所スタッフもバスに同乗するため、全員が揃ったら“救護所主任（市職員）”に報告すること。



4 移動について（集合時・解散時）

- ①下記の表を確認し、「行き先、出発時間」を確認すること。
- ②原則、各バスは下記の通り出発するため、「各AED隊リーダー」は速やかに各AED隊ごとの乗車確認を行う。

● 移動方法とバスの発着時間

乗車対象	行き先	行き			帰り	
		移動バス・方法	出発時刻	到着時刻	移動バス・方法	現地出発時刻
1～5kmAED隊	3km関門行き	輸送バス 13号車	7:45	8:05	輸送バス 13号車	10:20
6～9kmAED隊	8km救護所行き	▲ 収容バス 4号車	7:45	8:15	輸送バス 12号車	11:10
10～13kmAED隊	11km救護所行き	▲ 収容バス 7号車	7:45	8:15	輸送バス 12号車	11:20
14～17kmAED隊	15km救護所行き	▲ 収容バス 10号車	7:45	8:05	収容バス 1号車	12:10
18～20kmAED隊	20km救護所	徒歩	7:45	8:00	徒歩でフィニッシュ救護所へ	12:30
21・22kmAED隊	21、22km地点	フィニッシュ救護所から自転車で移動	7:45	8:05	自転車でフィニッシュ救護所へ移動	最後尾ランナー通過
23～26kmAED隊	25km救護所行き	収容バス 15号車	7:45	8:05	収容バス 4号車	15:00
27～30kmAED隊	29km救護所行き	収容バス 20号車	7:45	8:10	収容バス 11号車	15:00
31～35kmAED隊	32km救護所行き	収容バス 24号車	7:45	8:15	収容バス 6号車	14:50
					収容バス 1号車	15:00
36～38kmAED隊	36km救護所行き	収容バス 15号車	7:45	8:05	収容バス 7号車	15:10
39～42kmAED隊	40km救護所行き	収容バス 28号車	7:45	8:00	収容バス 12号車	15:20

※『帰り』は、定点AED隊のみ。
※移動AED隊は自転車で移動。

● 活動終了時

定点AED隊

上記の表を参照に、「輸送バス」または「収容バス」に乗車してフィニッシュ救護所へ移動する。
収容バスに収容者が乗車している場合、同乗している体調急変者の対応を行う。

移動AED隊

各自待機ポイントを最後尾ランナーが通過後、コース内を走行しながらフィニッシュ救護所へ向かう。
なお、交通規制の都合、新砂津大橋周辺に自転車動線が設定されている。
次項「移動AED隊」フィニッシュ救護所への動線について」を参照。

AEDサポート隊

各自待機ポイントを最後尾ランナー通過後、「移動AED隊⑧」に「携帯品」と「着用ヒブス」を返却して現地解散する。
「輸送バス」または「収容バス」に乗車してフィニッシュ会場へ移動可。

5 「距離表示シート」について

コース1kmごとの車道沿いに、「距離表示シート」を貼り付けています。移動AED隊とAEDサポート隊は、車に気を付けて確認しながら目的地に移動してください。



※上の写真は2019大会のものです。

6 「移動AED隊」フィニッシュ救護所への動線について

- ①コース前半の「1～20kmの移動AED隊」が西日本総合展示場に戻る際は、一度フィニッシュゲートのある交差点を通過して、「新砂津大橋東交差点」にて折り返す。
※「国際会議場入口交差点」で、左折または、そのまま左側の車道を直進して走行することは禁止。
- ②「新砂津大橋東交差点」より転回し、「浅野町緑道入口付近の歩道」に進入、浅野町緑道を直進の後、突き当たりを左折する。「北九州国際会議場」と「ミニワールドスタジアム北九州」の間を通り抜け、西日本総合展示場本館北側よりフィニッシュ救護所へ戻る。
- ③21km以降の移動AED隊も、走路よりこの動線でフィニッシュ救護所(海側入口)へ戻る。



7 GPS付きスマートフォンについて

①基本情報

- ①各AED隊⑧、各救護車のドライバーには、「GPS機能の付いたスマートフォン(iphone)」を支給します。
- ②スマートフォンには傷病者や救護スタッフの位置情報を確認できるスマートフォンアプリ「救護navi」がインストールされています。
- ③各スマートフォンの位置情報はAED隊本部でも把握して、緊急時適切な指示が出せるようにする。

「救護navi」で可能なこと

①各スタッフ間の緊急電話
③マップ(位置情報)の閲覧

②救護本部への連絡・メッセージ受信
④『先頭・最後尾位置』情報の表示

②「救護navi」操作方法

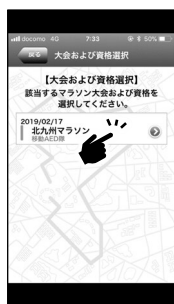
①ログイン



「救護navi」を選択



端末の裏面記載のIDとパスワードを入力



大会を選択

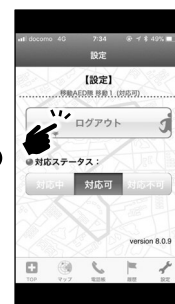


ログイン完了

②ログアウト



「設定」を選択



「ログアウト」を選択

③通話



「通話」を選択



通話相手を選択し発信・通話

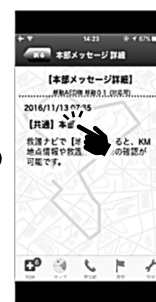
④救護本部からのメッセージ閲覧



メッセージを受信時画面に表示される



受信履歴一覧より未読メッセージを選択



メッセージ詳細が表示

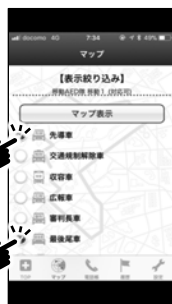


未読メッセージは未読件数を表示

⑤マップ(位置情報)の閲覧



マップを選択。



表示させたい「車両」や「スタッフ」にチェックを入れて「マップ表示」を選択。

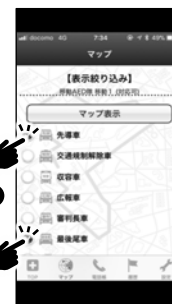


マップに位置情報が表示

⑥『先頭・最後尾位置』情報の表示



マップを選択



「先導車」と「最後尾車」にチェックを入れ、「マップ表示」を選択。



先頭・最後尾の位置を表示。

収容者一時待機車管理係

1 集合・待機場所について

- 集合対象／収容者一時待機車管理係(市職員)、車両スタッフ(第一交通ドライバー)
- 集合時間／①一時待機車<現地、9:00> ②市職員<現地、9:15>
- 集合場所／収容者一時待機車①・・・西海岸二丁目交差点
収容者一時待機車②・・・片上海岸交差点(門司港側)

2 概要と諸注意について

- ① 救護所(収容関門)から離れた場所で棄権したランナーの低体温症を防止するため、一時待機場所としてワンボックスカーを2台配備する。
棄権したランナーは、最後尾バスの到着を温かい車内で待つことができる。
- ② 車両1台につき、「収容者一時待機車管理係(市職員)1名」と「車両スタッフ(第一交通ドライバー)1名」で収容者の対応にあたる。
市職員と車両スタッフは互いに協力して活動する。
- ③ ランナーは誰でも利用出来るが、車両に退避した時点でリタイヤ(途中棄権)となる。
※軽食は用意していないので、各自あらかじめご準備下さい。
※午後は忙しくなると思われるため、食事は早めに済ませておくことをお勧めします。

3 業務内容について

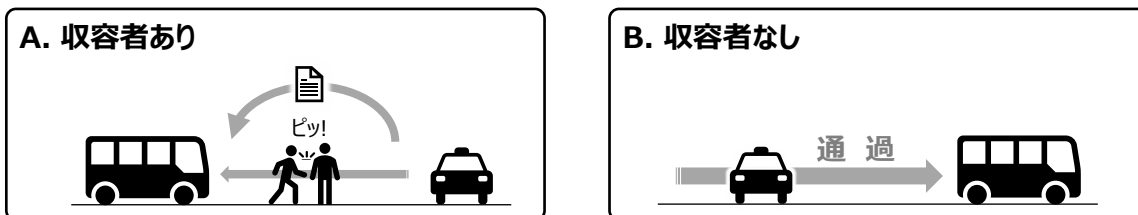
①「車両の配車」「定位置での事前準備」について

- ▼ 車両スタッフは、交通規制前に配置場所に到着。到着後、自己紹介をする。
- ▼ 車両スタッフは、到着後はエンジンをかけたままにして暖房を効かせたままにする。なお、当日の気温やランナーの状態に注意すること。
- ▼ 市職員は、ランナーの通過前には、車外にて待機し、ランナーの状況を確認する。

②利用者発生時の業務について

- ▼ 配置場所付近のボランティア等に誘導されてくるランナー(途中棄権者)を車内へ案内する。
途中棄権の申し出があり、収容関門までの自力歩行が困難そうなランナーを車両へ案内する。
 - ★ 1. 収容者を乗車させた後、市職員は速やかに「車両本部(直接連絡)」まで「収容者一時待機車○号車、途中棄権者を○名収容しました」と都度、連絡を入れる。
 - ★ 2. 車両本部は連絡を受け次第、途中棄権者が収容できるバスの調整を行う。
 - ★ 3. 調整確認後、車両本部より連絡のあった収容者一時待機車の市職員に電話連絡して、乗車するバスを伝える。
- ▼ 乗り込んだ収容者1名ごとに「毛布1枚」「ドリンク1本」を渡す。
- ▼ 収容したランナーのナンバーカードを「収容者一時待機車管理簿」に記録して控え、容体を確認する。
- ▼ 収容したランナーの体調に異変が生じた場合は、救護本部に連絡し指示を仰ぐ。(救護本部／093-512-0515)
- ▼ 緊急時に人手が足りなければ、コースの市職員やボランティア等に協力を求めること。

③最後尾バス(収容バス)到着時の業務について



- ▼ 最後尾バス(収容バス)が到着したら、車内に待機しているランナーを最後尾バス(収容バス)へ案内する。
- ▼ 最後尾バス(収容バス)にランナーが乗車する際、「最後尾バス(収容バス)に乗車中の担当市職員」が専用端末でナンバーカードのバーコードを読み込む。
- ▼ 併せて、待機していたランナーの状況と「収容者一時待機車管理簿」を、最後尾バス乗車の市職員へ引き継ぐ。
- ▼ 収容者一時待機車連絡が無い場合は、


最後尾バスが満席の場合の手順

「大会本部車両担当」より「収容者一時待機車管理係(市職員)」に、交通規制後に立ち寄る「収容バス」の情報を電話にて伝達します。

④ 業務終了時について

- ▼交通規制が解除されたら、車両スタッフは車両を移動・解散する。
- ▼市職員は携帯電話を回収担当の区長へ返却後、現地解散となる。
- 収容者一時待機車①担当者 → 60～62区の回収担当区長へ返却（ローソン西海岸2丁目店駐車場バス）
- 収容者一時待機車②担当者 → 56・57区の回収担当区長へ返却（トライアル門司片上海岸店駐車場バス）

⑤ その他

 **最寄りの仮設トイレ** ランナー優先だが使用可。ランナーが少ない時間帯の利用にご協力ください。


収容者一時待機車① → ◆門司港サイロ隣（門司港方面すぐ 32.9km地点）

収容者一時待機車② → ◆トライアル門司片上店駐車場（小倉方面道路向い側。近距離だが、ランナー通過中のコース横断は不可）
◆豊光産業倉庫前（小倉方面に600m 35.2km地点）

4 収容者一時待機車の待機場所①


※担当者名や連絡先は、各自で記入をお願いします。

① 西海岸二丁目交差点

収容者一時待機車①
担当市職員
連絡先

担当市職員
連絡先
最後尾バス①

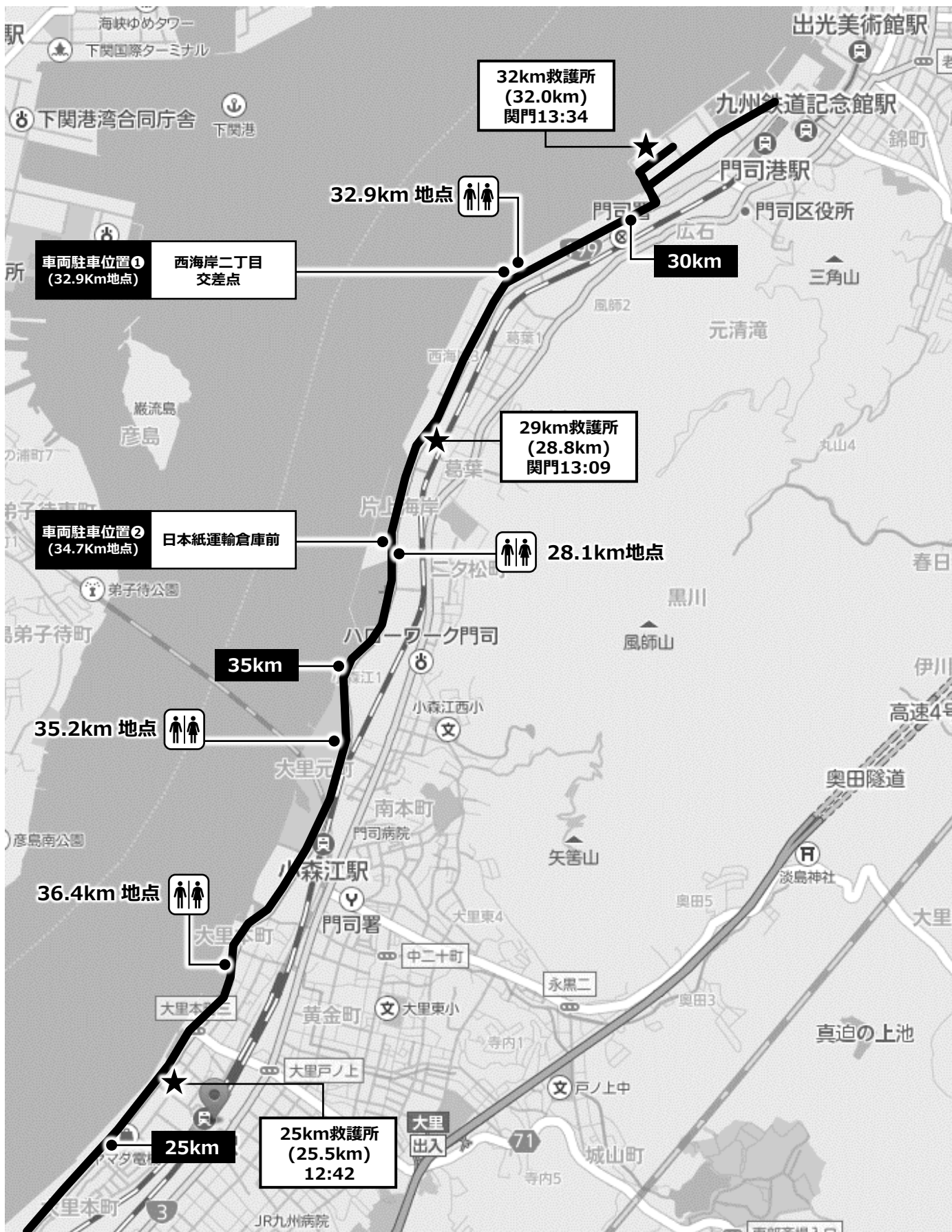


② 日本紙運輸倉庫前（門司港側）

収容者一時待機車②
担当市職員
連絡先

担当市職員
連絡先
最後尾バス②



5 収容者一時待機車の待機場所②



6 見本 収容者一時待機車管理簿

車両運用

収容者一時待機車 管理簿

車両番号	担当者名

No.	ナンバーカード <small>※アルファベット不要</small>	入所時間	退所時間	メモ
1		:	:	
2		:	:	
3		:	:	
4		:	:	
5		:	:	
6		:	:	
7		:	:	
8		:	:	
9		:	:	
10		:	:	
11		:	:	
12		:	:	
13		:	:	
14		:	:	
15		:	:	
16		:	:	
17		:	:	
18		:	:	
19		:	:	
20		:	:	

救護本部

1 集合・待機場所について

- 集合時間／①救護部会員 <6:00>
②市職員 <8:00>
③危機対策担当係長 <6:30>
- 集合場所／西日本総合展示場新館 3階
救護本部（入室には大会本部パスが必要。）

⚠️ “大会本部パス”が無いと、「フィニッシュ会場エリア」「救護本部」に入れないので忘れないように注意。

- 事前準備／マニュアルで「コース、各救護所の場所、救護体制、大会当日の連絡体制」を把握しておく。



2 主な業務内容について

- ①本部に通報のあった傷病者(ランナー、観客)の状況を聞き取り、医師・看護師・消防・AED隊隊長と対策を協議決定し、コースにいる市職員(救護所主任、区長、消防隊)やAED隊へ指示を出す。
- ②病院へ搬送されたランナーの緊急連絡先への電話連絡、預かっている手荷物の引渡しの手配をする。
- ③競技終了後、大会運営本部から「未着の収容バスに乗車中のランナー数」を聞いてフィニッシュ救護所主任へ連絡する。
- ④各救護所から戻ってくる帳票類(診療録等)や携帯電話等の備品をフィニッシュ救護所から回収する。
- ⑤メディカルサポートランナーの受付簿を、「フィニッシュ総合案内所」から引き上げる。

3 救急要請の電話対応について(2人1組で対応)

●電話対応 [電話を受ける人]

- ①電話を受けた際は、ホワイトボードを確認し、“既要請者”であるかを確認。“既要請者”である場合は、原則、最初の応対者(聞取者)に電話を回す。
- ②電話の内容を聞き取りながら「救護要請記録簿」へ記入。
聞き取り内容が周囲の者にも聞こえるように復唱しながら大きな声で話すこと。
- ③その場で、医師、看護師、AED隊隊長、消防と相談。
通報者に対する救護活動の指示や救急搬送の決定などを伝える。
(消防局、警備本部との情報共有)

例) 救護所スタッフや救護車、AED隊に対する発生場所への誘導。

- ④「救護要請記録簿」は、対応が完了するまで手元に置き、同一者に関する連絡は継続して記入する。
- ⑤対応完了の「救護要請記録簿」は、“対応済”の箱に入れる。病院搬送者の記録簿は、緊急連絡先対応の者に引き継ぐ。

●電話対応 [サポートする人]

- ①地図等により位置の特定や、ランナーの特定を行う。
- ②電話の内容が緊急を要する事例の場合は、電話中に対応を準備。
- ③対応継続中の案件は、誰がどのランナーを対応中なのか分かるようにホワイトボードへ内容を記入する。
(または、ホワイトボード係へ伝えて書いてもらう。)
- ④救急搬送されたランナーのナンバーを緊急連絡先対応の者へ伝え、緊急連絡先へ電話をしてもらう。
- ⑤対応が完了したものは、「救護要請記録簿」に必要事項が記載されていることを確認し、ホワイトボードから消す。

救護要請記録簿

救護要請者 (ゼッケンNo.)	【場所】※住所・目印となる建物	聞取者
通報①	【時間】 :	メモ欄
【通報者】	【内容・対応】	
【通報者携帯電話番号】		

●救護要請記録簿見本

ナンバー or氏名	時間	場所	症状	対応	聞取者
12345 北九州太郎	13:07	39キ口 赤坂海岸東交差点付近	低体温 顔面蒼白 意識有	△△病院搬送	□□

4 救急搬送者（ランナー）の緊急連絡先への電話対応について

●緊急連絡先へ電話をする

- ① PCのデータから、救急搬送者のナンバーカード引換証を探す。
他に手の空いている者や補助者がいるときは、探すよう依頼して良い。
- ②リストに記載されている緊急連絡先に、緊急連絡専用の回線から電話する。

伝えるポイント

- ▼ご参加の〇〇さんは、体調不良で病院へ搬送された。
- ▼搬送先の病院名は△△（所在地・代表電話）※別紙、病院リスト一覧参照
- ▼症状が重篤（意識が無い・心肺停止）な場合は、病院へ行くよう伝える。
- ▼預けている手荷物は、本日夕方16時までは、フィニッシュ（EXPO）会場入口の総合案内所で引取りが可能。
（状態が重篤な場合は、手荷物の案内はしなくてよい）

緊急連絡先への会話例

『北九州マラソン救護本部の□□と申します。〇〇さんのお母様××さんですか？
本日、北九州マラソンにご参加の〇〇さんの緊急連絡先としてお名前がありましたのでお電話しています。
〇〇さんは、走っている最中に体調を崩して、救急車で△△病院へ運ばれました。
△△病院の場所はわかりますか？住所は…、電話番号は…です。
（以下、状態が重篤な場合は、手荷物の案内はしなくてよい。）
〇〇さんは、着替えなどが入った手荷物をお預けになっていると思います。手荷物は、本日16時まではフィニッシュ会場の総合案内所で引渡しています。大変お手数ですが、総合案内所で〇〇さんのお母様であることを告げて手荷物の引取りをお願いします。もし、16時を過ぎそうな場合は（緊急連絡専用の番号）に電話をください。』

- ③「救護要請記録簿」に緊急連絡先とのやりとりを記録する。後のトラブルを避けるため、何時に誰と話をしたか確実に記録する。
例）緊急連絡先は父親だったが母親と話した、誰々が〇時頃手荷物を受け取りに来るなど。
- ④「手荷物代行受取票」にランナーのゼッケンナンバーと氏名を記入し、手荷物担当の者に引き継ぐ。
緊急連絡先につながらない等、手荷物の引取人がいない場合は、搬送先病院へ荷物を届けることになるので、手荷物担当へその旨伝える。
競技終了時刻の15時以降に、大会本部で手が空いている者が配達に行く。
15時前でも、救護本部以外で手が空いている者（臨時職員等）がいれば、随時配達を依頼してよい。

5 搬送されたランナーの手荷物回収について（場所／1階：更衣室手荷物置場）

●必要用紙類

- ①「手荷物代行受取票」…救護本部スタッフが引取り代行するための用紙。
「救護本部控え」「手荷物引取控え」の2種類。
- ②「手荷物受領書」……受け取った手荷物に貼り付ける用紙。

●手荷物を回収する

- ①「手荷物代行受取票」に、以下を記入する。
 - ◆代行受取者（男・女更衣室手荷物置場へ行く救護スタッフ）の名前。
 - ◆総合案内所へ引取りに来られる人の“名前と緊急連絡先”。
- ②「手荷物代行受取票(救護本部控え)」は救護本部で保管・管理。
- ③「手荷物代行受取票(手荷物引取控え)」「手荷物受領書」を持ち、男・女更衣室手荷物置場へ移動し、「手荷物代行受取票」を担当の市職員に渡す。ボランティアに手荷物を探してもらい、受け取る。
市職員が近くにいない時は、ボランティアに「手荷物代行受取書」を渡し、後で担当市職員に渡すよう伝言する。

Handwritten form for "Handbag Proxy Receipt" (手荷物代行受取記録票). The form includes fields for runner name, gender, and emergency contact information. It also has a section for the proxy receiver's name and contact details.

●手荷物代行受取票 見本

Handwritten form for "Handbag Receipt" (手荷物受領書). The form includes fields for runner name, gender, and emergency contact information. It also has a section for the recipient's name and contact details.

●手荷物受領書 見本

●手荷物を引取りに来てもらう場合 → 手荷物を総合案内所に預ける。

- ①手荷物に「手荷物受領書」をテープで貼り、総合案内所に引き渡す。
- ②引取人が来たら「手荷物受領書」に署名を貰い、荷物のみを引渡す。「手荷物受取書」は保管する。
- ③「手荷物受取書」は、EXPO終了時刻の16時頃に、救護本部が回収に来ることを伝える。
- ④手荷物の引き取りが無かった場合は、救護本部へ引き上げる。
手荷物を一度で運べない場合は、本部に戻り応援を呼ぶか総合案内所の人に手伝ってもらう。

●手荷物の引き取り手がいない場合 → 手荷物を搬送先の病院へ届ける。

- ①「緊急連絡先に繋がらない」「手荷物の引取り手がいない」ときは、大会本部が搬送先病院へ荷物を届ける場合がある。
原則、競技終了時刻15時以降の対応とするが、15時前でも救護本部以外で手が空いている者（臨時職員等）がいれば、随時配達を依頼する。
- ②出発前に病院へ電話し、搬送者が帰宅していないことを確認。これから手荷物を届けに行くことを伝えておく。
- ③タクシーチケット（往復）を貰い、タクシーで搬送先病院へ運ぶ。チケットがない場合は立替えておく。
後日清算用に領収証を貰っておくこと。公用車が空いている場合は、公用車で運んでも良い。
- ④病院で荷物を引き渡した相手に、「手荷物受取書」の受領欄へ署名して貰う。

第一交通産業タクシー 521-3216 / 522-1818 / 0120-382-333

12時以降は交通規制が解かれ、小倉駅新幹線口交差点からあさの夕風公園側へ車両通行が可能になる。

6 帳票類等の回収について

●競技終了後の16時頃、帳票類等を回収

<フィニッシュ救護所 回収>

- ①各救護所の「記載された帳票類」「パルスオキシメータ」「救護所主任の携帯電話」がフィニッシュ救護所へ戻って来るため、回収に行く。
フィニッシュ救護所にある「救護所備品・帳票類返却 確認簿」を確認し、全ての救護所の書類等が返却されているかどうか、返却物と照会する。なお、各救護所からの返却時に、現物との照会確認を行った上で記入されている。
- ②「携帯電話」のみ西日本総合展示場新館 1階 備品ルームへ返却し、「パルスオキシメータ」「帳票類」は救護本部に持ち帰る。

<総合案内所 回収>

- ①手荷物の受領書を総合案内所で回収する。

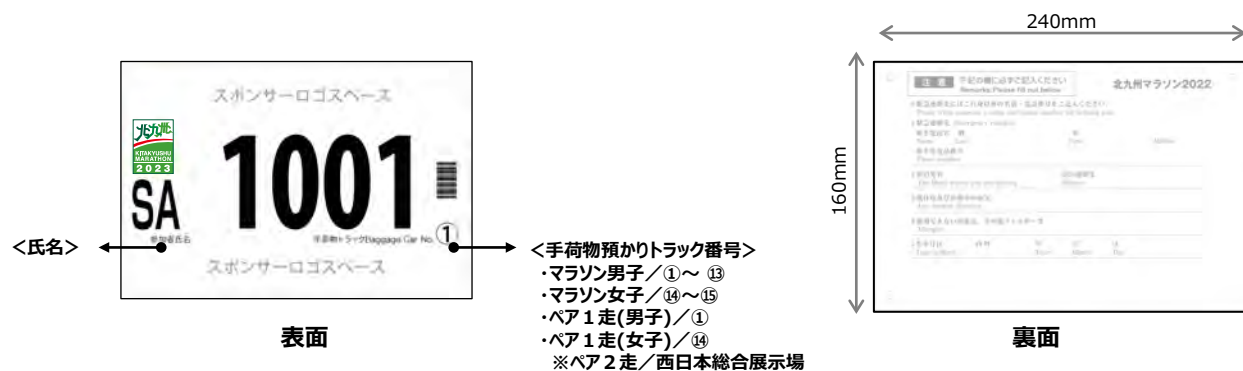
救護所備品・帳票類返却 確認簿

	帳票 ・入退室管理簿 ・診療録 ・備品取調査票 ・アンケート （復調紙・ホログラム）	パルスオキシメータ （サチュレーションモニター）	救護主任の 携帯電話	持ってきた人 署名（サイン）
記入例 返却したら○を書く	○	○	○	北九 走
スタート 救護所				
3キロ 救護所				
8キロ 救護所				

7 備品について

- | | | |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 大会コース・救護所マップ（A3/ラミ加工） | <input type="checkbox"/> ホワイトボード表見本（A4） | <input type="checkbox"/> 主な病院連絡先一覧（A4） |
| <input type="checkbox"/> 救護所連絡網（A3/ラミ加工） | <input type="checkbox"/> 記録等の回収箱 | <input type="checkbox"/> タクシーチケット（市マラソン事務局払用） |
| <input type="checkbox"/> 救護所備品一覧表（A3） | <input type="checkbox"/> 距離住所目印一覧（A3/ラミ加工） | <input type="checkbox"/> ビニールテープ（ホワイトボード用野線） |
| <input type="checkbox"/> 手荷物代行受取記録表 | <input type="checkbox"/> AED隊連絡網（A3/ラミ加工） | |
| ・手荷物代行受取票（2種類/A4） | <input type="checkbox"/> 救護要請記録簿（B4） | |
| ・手荷物受取書（A4） | <input type="checkbox"/> 筆記用具 | |

ナンバーカード一覧



マラソン登録の部/男	マラソン登録の部/女
<ul style="list-style-type: none"> ●下地/白色 ●文字/黒色 	<ul style="list-style-type: none"> ●下地/白色 ●文字/赤色
マラソン一般の部/男	マラソン一般の部/女
<ul style="list-style-type: none"> ●下地/青色 ●文字/黒色 	<ul style="list-style-type: none"> ●下地/青色 ●文字/赤色
マラソン一般の部(ニックネーム)/男	マラソン一般の部(ニックネーム)/女
<ul style="list-style-type: none"> ●下地/青色 ●文字/黒色 	<ul style="list-style-type: none"> ●下地/青色 ●文字/赤色 ニックネームは黒色
ペアリレーマラソンの部/一走	ペアリレーマラソンの部/二走
<ul style="list-style-type: none"> ●下地/桃色 ●文字/黒色 	<ul style="list-style-type: none"> ●下地/桃色 ●文字/黒色
ファンラン	
<ul style="list-style-type: none"> ●下地/黄色 ●文字/黒色 	

■ アンケート

北九州マラソン実行委員会事務局 ボランティア担当行 FAX 093-582-0103

北九州マラソン2023

ボランティアアンケート

ボランティアのみなさまには大会運営を支えていただきまして、事務局スタッフ一同、心よりお礼申し上げます。本用紙は、活動終了時にマニュアルより切り離して市職員へお渡しください。また、FAXや下記QRコードからの回答もお受けしています。いただいた回答は、みなさまからの貴重なご意見として、次回大会の運営の参考にさせていただきます。以下、該当する項目を○で囲み、必要事項をご記入ください。

1 活動日、活動内容を教えてください。

() 2月17日(金) 活動内容 () ランナーへの配布物袋詰め
 () 2月18日(土) 活動内容 ()
 () 2月19日(日) 活動場所・内容 ()

2 あなたの年齢を教えてください。

10代/ 20代/ 30代/ 40代/ 50代/ 60代/ 70代/ 80代以上

3 今回のボランティア募集を何から知りましたか？

主催者からの連絡 / 大会ホームページ / テレビ・ラジオ / 新聞 / ポスター /
 大会公式SNS / 知人からの紹介 / その他 ()

4 今回のボランティア活動の満足度を教えてください。

とても満足 / 満足 / ふつう / 不満 / とても不満

5 活動場所のボランティアの配置人数について教えてください。

とても多い / 多い / ふつう / 足りない / とても足りない

6 次回大会では、あなたもボランティアリーダー（黄色ジャンパーにオレンジビブス着用）をしてみたいですか？

ぜひしてみたい / してもよい / どちらでもない / したくない

7 活動中にお気づきの点などがございましたら、ご意見を聞かせてください。

()



※スマホからもアンケートにご回答いただけます。QRコードを読み取っていただき、アンケートのページにアクセスしてください。

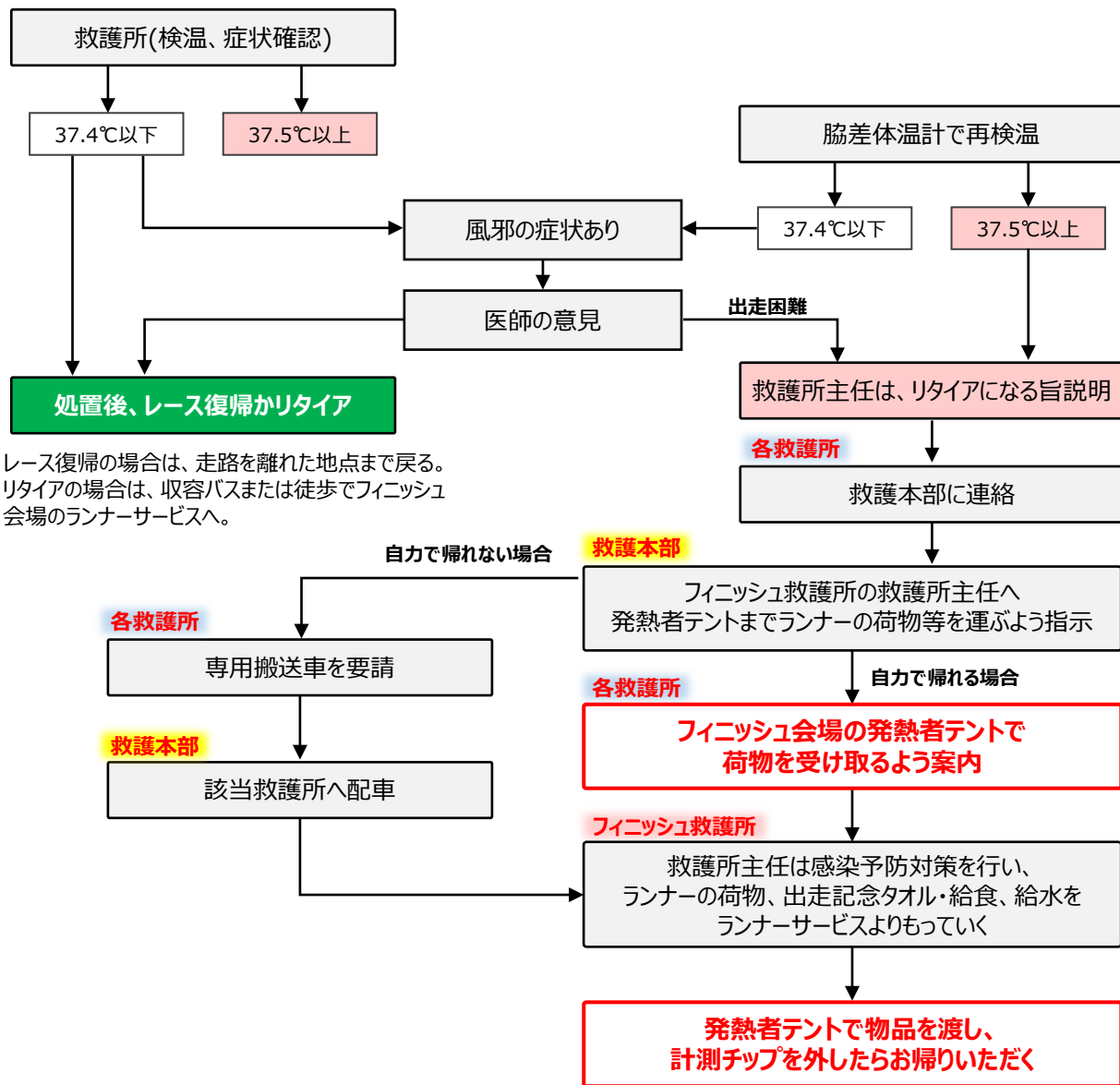
以上 ご協力ありがとうございました。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

新型コロナウイルス感染症予防対策について（感染疑い者が発生した場合の対応手順）

1 感染疑い者発生時の対応



2 感染疑い者の搬送場所



- コース上で発熱したランナーは、フィニッシュ救護所の北側に設置した『発熱者テント』に搬送する。
(本館北側は一步通行の車両ルート)
- 救護所主任が荷物を持ってくるまでの間待機し、準備が整い次第お帰りいただく。
(大会関係者と接触しないよう注意)

※待機中具合が悪くなった際は、フィニッシュ救護所の医療従事者が対応

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

■ 傷病者対応

【転倒、ふらつき、蛇行、立ち止まりなど 通常の行動とは違った状況を見つけた場合】

- ！ 傷病者発見** ⇒ **傷病者に数回、声をかける：「大丈夫ですか？」**
- ① **大丈夫な場合** ⇒
- そのまま様子を見る。
 - 周囲に赤いスタッフウェア、ビブスをつけた人がいれば状況を伝え、様子を見てもらう。
 - 状況を市職員に報告する。
- ② **大丈夫ではない場合** (反応がない、呼吸や足取りがおかしい) ⇒
- 傷病者を歩道に誘導し安全を確保する。
 - 最寄りの救護所に誘導する。
 - 周囲に赤いスタッフウェア、ビブスをつけた人がいれば伝える。
 - 必要に応じて救護本部へ連絡（救護本部が対応の指示を出します）
 - 状況によってはすぐに119番通報 → 通報後、救護本部、市職員に連絡する。
- ③ **意識がない場合** ⇒
- 周囲の人と協力し、歩道に運ぶなどの安全確保を行い119番通報する → 通報後、救護本部、市職員に連絡する。

救護を待っている間は、できるだけ寒さを防ぐ（温める）ようにしてください。

「救護本部」への連絡方法 TEL:093-512-0515

※電話番号はスタッフパス（シール）に記載しています。下記のことをあわせてゆっくり伝えてください。

活動前に自分の担当エリア・場所（周辺の目印になる建物等）を確認してください。

- ① **発見場所をわかる範囲で伝える。**
「ボランティアの**（氏名）です。〇〇（キロ地点）付近で傷病者発見しました。目印は〇〇です。」
- ② **傷病者の状態を伝える。**
意識はあるか？呼吸はしているか？身動きしているか？を確認
- ③ **選手のナンバーカード（ゼッケン）番号を伝える。**
「ナンバーカード〇〇番です」
- ④ **医療救護本部の指示に従う。市職員にも報告する。**

周りにいる
スタッフにも声を掛けて
協力しながら、迅速に
行動しましょう！



※ランナーだけではなく、ボランティアや大会関係者の中で傷病者が発生した場合も同様の対応を行ってください。

■ 不審物・不審者を発見したとき

全員がテロ等に対する危機意識をもって従事し、不審物・不審者を発見したときは、ただちにガードマン（警備員）か市職員に連絡してください。

■ 地震、火事などの緊急事態がおこった場合

ガードマン（警備員）、市職員の指示にしたがってください。

■ 落とし物について

■ 落とし物

落とし物は市職員に届ける。通行人や観客が落とし物を届けてきた場合は、大会関係者の所有物と思われる物品（ランニングウェア・グッズ類）はそのまま預かり、市職員に届ける。大会関係者の所有物か判断がつかない物品（現金・財布・携帯電話など）は直接、近くの交番に届けるように拾った方に案内する。 ※ただし、報労金等（お礼）の権利を主張されない場合は、拾った時間、場所を聞きとって市職員に届けてもかまいません。

■ 大会の中止について

災害・悪天候による大会の決行・中止の発表は、**大会当日2月19日(日)午前5時**までに下記にて発表いたします。

- ◆ 北九州マラソン大会ホームページ <https://kitakyushu-marathon.jp/>
- ◆ RKB毎日放送（4ch）

※中止の場合のみ
お知らせ